

平成27年版

消防年報

小野市消防本部

平成28年刊行

はじめに

この年報は、平成27年中における小野市消防の主な消防事情について収録し、今後の消防執務の参考に資するとともに、本市消防行政を広く一般に紹介し、ご理解いただく一翼になれば幸いと編集したものです。

皆様にご高覧のうえ、小野市消防行政へのご理解を賜り、基礎資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

なお、火災、救急、救助は暦年、その他の必要な資料については、当該表に年月日を記載いたしました。

平成28年7月

小野市消防本部

消防訓

我々消防人は

ゆたかな心たゆまぬ努力を基本として

規律を守り

心身を鍛え

教養を高め

誇りを持って使命を達成しよう

自治体消防制度四十周年記念

昭和六十三年三月七日制定

小野市消防本部

目 次

□ 小野市の概要	1
□ 一目統計	2
□ 管轄区域・消防機関配置図	3
□ 消防庁舎の概要	4
□ 小野消防の現況	4
□ 小野市の平均	4
□ 小野市消防本部の組織	5
□ 小野消防の推移	6

【総 務】

□ 予算の内訳・前年度比較	7
□ 消防職員の表彰等状況	7
□ 消防職員年齢別状況	8
□ 消防職員の学校教育状況	9
□ 消防職員の配置状況	10
□ 消防力の現勢	10
□ 消防職員の免許・資格所有状況	11
□ 平成27年度消防施設整備事業	12

【予 防】

□ 消防用設備等設置状況	13
□ 防火対象物の状況	14
□ 月別・地区別建築同意状況	15
□ 用途・工事別建築同意状況	15

□ 各種届出指示状況	16
□ 一般家庭・高齢者（独居） 家庭の防火診断実施状況	16
□ 中高層建築物等状況	16
□ 危険物施設状況	17
□ 許可・完成検査・承認数状況	17
□ 危険物規制事務処理状況	18
□ 危険物施設立入検査状況	18
□ 過去5年間の危険物施設数 （完成検査済）状況	19
□ 手数料収入額状況	19
□ 県委譲事務処理状況	19
□ 防火防災組織の状況	20

【消 防】

□ 平成27年火災概要	21～ 22
□ 過去10年間の火災概要	23
□ 火災状況前年比較	24
□ 月別火災発生状況	25
□ 時間別火災発生状況・ 曜日別火災発生状況	26
□ 地区別火災発生・損害額状況	27
□ 出火原因別状況	28
□ 建物用途別火災発生状況・その他	29
□ 地区別火災発生状況全体図	30

【指 令】

□ 消防水利状況	31
□ 過去10年間の降雨量	31
□ 消防機械器具保有状況	32 ~ 36
□ 消防車両一覧表	37
□ 消防署出動状況	38
□ 小野市火災予防条例に関する届出状況	38

【救 急】

□ 平成27年救急概要	39
□ 救急出場件数・地区別・ 月別救急概要	39
□ 搬送人員状況	40
□ 年齢・性別搬送人員比較	41
□ 救急所要時間状況	42
□ 事故種別でみる地域別 搬送先医療機関の搬送傷病者数	43
□ 急病件数に対する過去5年間の比較	43
□ 医療機関平均交渉回数・平均交渉時間 受入不可理由	43
□ 応急処置・救命処置実施状況	44

【救 助】

□ 平成27年救助概要	45
-------------	----

□ 消防通信系統図	46
□ 119番通報状況	47
□ 119番による口頭指導実施状況	48
□ 情報テレフォンサービス利用件数	48
□ 消防無線一覧	49
□ 気象状況	50

【消防団】

□ 消防団組織	51
□ 平成27年度消防団行事	52
□ 消防力の現況	52
□ 消防団員出動状況	53
□ 消防団員の在職年数状況	53
□ 年齢別消防団員数	54
□ 消防団員等公務災害発生状況	55
□ 消防団表彰状況	55
□ 消防自動車の現況	56
□ 小野市消防の沿革	57 ~ 61
□ 消防応援協定の締結状況	62

小野市の概要

小野市は、東播磨地域のほぼ中央に位置し、東経134度56分、北緯34度50分の地点にあります。市の面積は93.84km²で、東西に11.8km、南北に11.2kmの広がりを持ち、東と北は加東市、西は加西市、南は三木市及び加古川市にそれぞれ接しています。

小野市の大部分は平地で、西南端の一部に老年期初期の山地があり、市域の西よりを県下最大の流域を持つ加古川が北から南へ流れ、左岸には河岸段丘が発達しています。臨海部に比べると内陸性であるが、瀬戸内式気候に属し、温暖で暮らしやすい気候であります。

年間降水量は、平均約1,200mmで全国的にみても少ない値となっています。

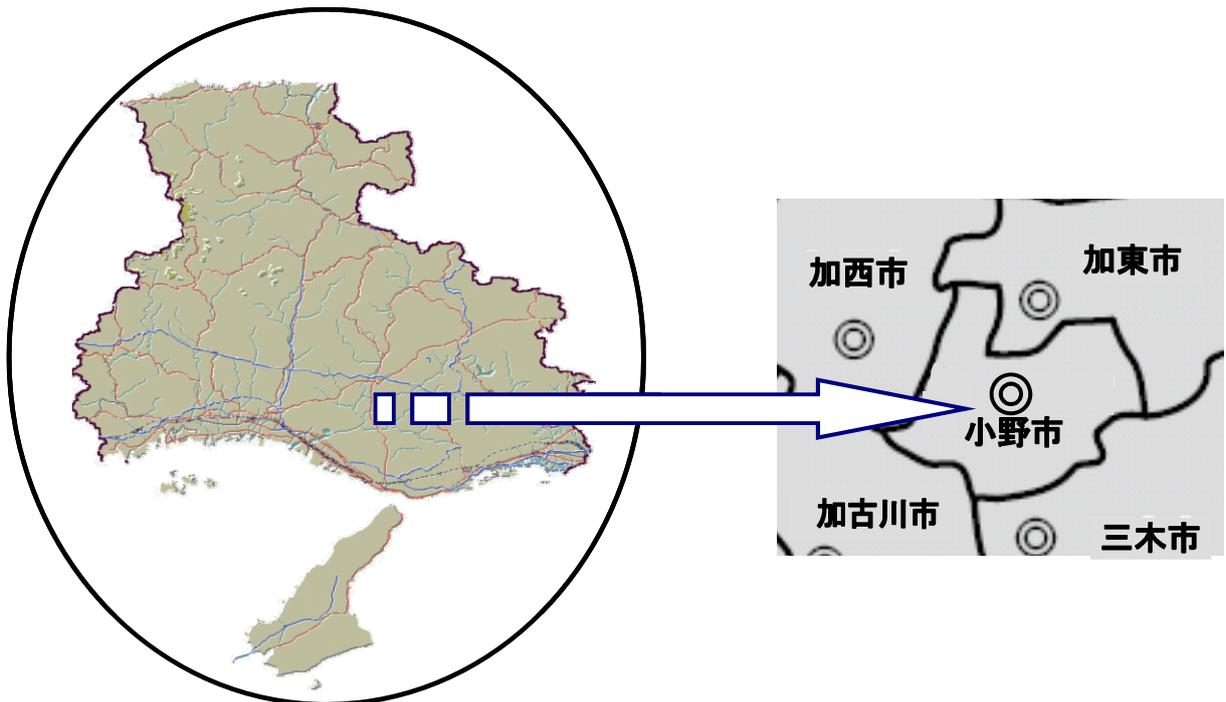
小野市は、古来から加古川中流域の文化の中心部として栄え、鋏、鎌、包丁、剃刀などの家庭刃物や「播州そろばん」などの伝統工芸品を生み出してきました。

この伝統技術は、時代の変遷とともに幾多の改良を重ねながら、今も伝統が息づく工匠の街としての小野の金物や木工工芸品に受け継がれています。

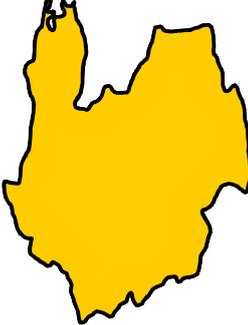
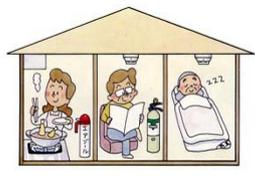
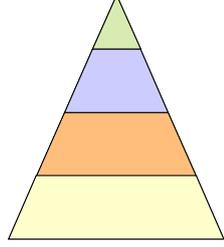
近年、小野市は、中国自動車道や山陽自動車道の進捗にあわせて、都市基盤の整備が一段と進むとともに、先端技術・高度組立産業の導入が図られ、伝統的特産工業と一体化した工場企業群としての工業団地が、その勇姿を現し、東播磨内陸地域における中核的都市として飛翔しようとしています。

一方、小野市内には、恵まれた自然環境と貴重な数多くの文化財が残っていますが、その中で東播磨平野の一角に建てられた極楽山浄土寺は、我が国が誇る文化財の宝庫であり、歴史上・学術上実に重要な価値を持っています。

小野市は、昨年、長年の悲願であった「小野警察署」が開所し、さらに警察署東端に「小野市安全安心センター」も完成しました。ホテル、警察署などの都市機能が集積したシビックゾーンが整備され、他の都市並みに都市基盤が整い、新たなまちづくりへスタートラインに立つことができました。平成28年度からは国が進める地方創生の実行段階に入り、小野市においても「新たな価値観の創造と輝く未来への挑戦」を理念とした「小野市版総合戦略」を実行に移しています。



一 目 統 計

	 (平成28年4月1日現在)	 (平成28年4月1日現在)	 (平成28年度)	 (平成28年4月1日現在)								
面 積 93.84 km ²	人 口 49,163人 男性24,108人 女性25,055人	世 帯 数 19,332世帯	予 算 20,010,000千円 【うち消防予算】 755,553千円	署 所 <table style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <tr><td>消防本部</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> <tr><td>消防署</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> <tr><td>分 署</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> <tr><td>臨時北部 救急隊派遣</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> </table>	消防本部	1	消防署	1	分 署	1	臨時北部 救急隊派遣	1
消防本部	1											
消防署	1											
分 署	1											
臨時北部 救急隊派遣	1											
 (平成28年4月1日現在)	 (平成28年4月1日現在)	 (平成28年4月1日現在)	 (平成27年中)	 (平成27年中)								
消防車両 消防車 12台 救急車 3台 その他の車両 1台	消防職員数 定 員 69人 実 員 66人 うち女性 2人	消防団員 定 員 700人 実 員 688人 うち女性 16人	火 災 発生件数 14件 うち建物火災 10件 損害額 55,817千円	救 急 発生件数 2,136件 搬送人員 1,986人 現場まで平均 7.0分								
 (平成27年中)	 (平成27年中)	 (平成27年中)	 (平成28年4月1日現在)	 (平成28年4月1日現在)								
救 助 発生件数 39件 活動件数 19件 救助人員 17人	その他の災害 発生件数 219件 検 索・危険火排除・ 危険物排除等	消防署への通報・問合せ 119番 2,975件 携帯119 1,335件 そ の 他 3,659件	自主防災組織数 婦人防火クラブ 1 幼年消防クラブ 6 女性消防隊 3	危険物施設数 製造所 10 貯蔵所 177 取扱所 104								

管轄区域・消防機関配置図



消防庁舎の概要

庁舎名	所在地	開署年月日	構造	建築面積	延面積
小野市防災センター 小野市消防本部・消防署	小野市王子町 809番地	平成26年 4月14日	鉄筋コンクリート造 地上3階建	1570.6㎡	3087.3㎡
小野市消防署 南分署	小野市池尻町 628番地の161	平成4年 4月1日	鉄筋コンクリート造 地上2階建	510.85㎡	696.35㎡

小野消防の現況

(平成28年4月1日現在)

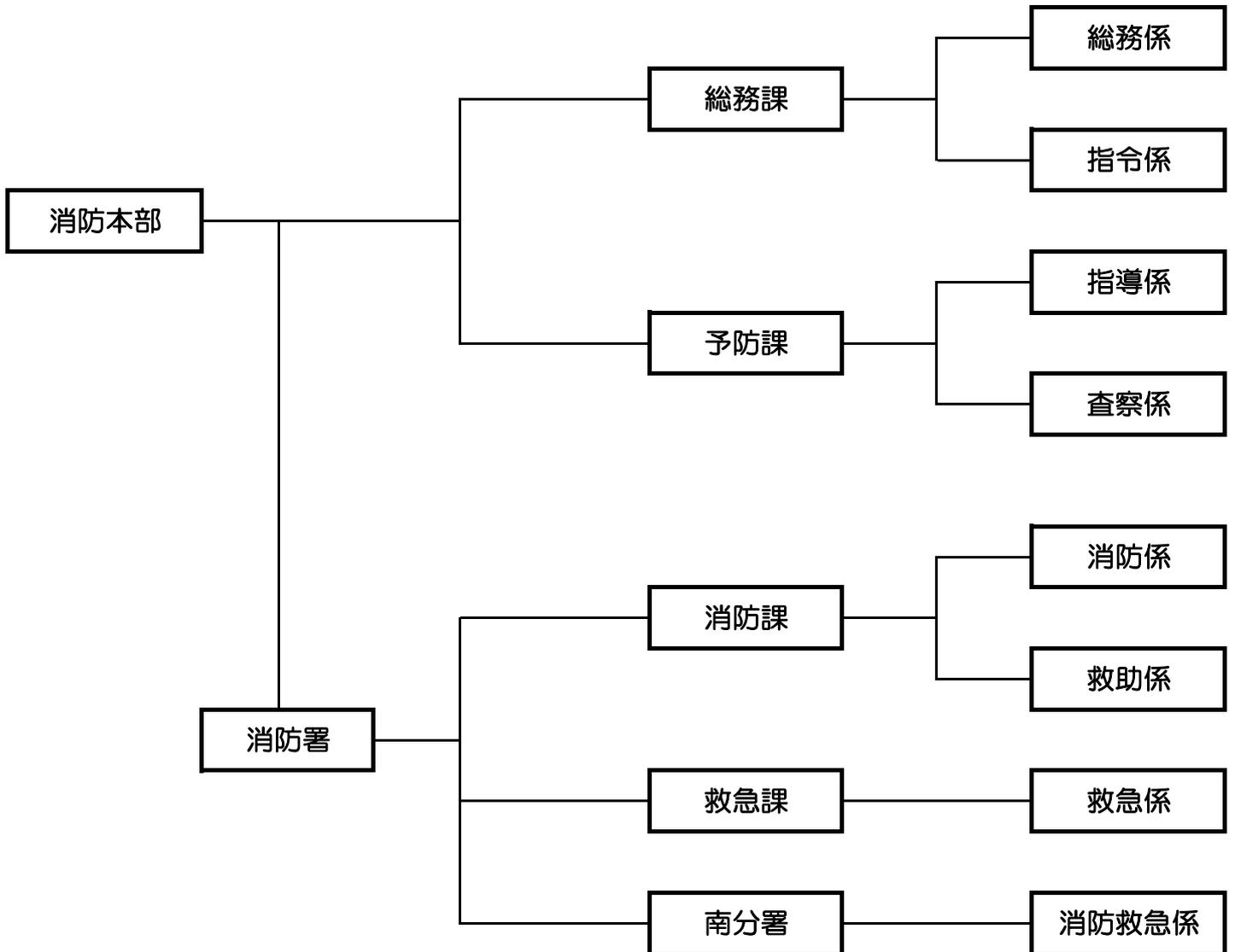
常備	署所	消防職員	消防ポンプ車等	屈折はしご車	救助工作車	高規格救急車
	2	66	5	1	1	3
非常備	団本部	分団数	消防団員数	消防自動車数	軽四積載車	小型動力ポンプ
	1	6	688	6	49	54

小野市の平均

小野市の人口	49,163人	人口密度	524人/km ²
小野市の世帯数	19,332世帯	1世帯あたりの人口	2.54人
小野市の予算	20,010,000(千円)	市民1人あたり	407,013円
火災発生件数	14件	火災出場	26日に1件
救急発生件数	2,136件	救急出場1日あたり	5.9件
救急搬送人員	1,986人	救急車利用	25人に1人

小野市消防本部の組織

平成28年4月1日現在



小野消防の推移

区分 年次	人 口 (人)	世 帯 数 (人)	消 防 職 員 数 (人)	消 防 団 定 員 数 (人)	火 災 件 数 (件)	火 災 損 害 額 (千円)	焼 死 者 数 (人)	救 急 件 数 (件)	搬 送 人 員 数 (人)	備 考
S 4 0	37,159	8,035	17	1,414	46	3,655		26	31	昭和40年4月 消防本部発足
S 4 5	38,141	8,767	25	1,144	35	47,741		376	391	
S 5 0	40,494	9,870	31	1,060	25	5,647	1	730	680	昭和41年12月 救急業務開始
S 5 1	41,338	10,132	30	1,060	40	17,859		719	680	
S 5 2	42,475	10,467	30	1,060	51	23,407		682	650	昭和46年6月 消防本部移転
S 5 3	43,008	10,643	32	1,060	68	40,558		713	700	
S 5 4	43,416	10,847	32	1,060	57	23,146		687	682	
S 5 5	43,686	11,239	33	1,060	44	21,237		775	757	平成4年4月 南分署開設
S 5 6	44,189	11,493	34	1,060	56	37,550	1	738	719	
S 5 7	44,562	11,643	36	1,060	55	125,784		717	718	
S 5 8	45,026	11,856	36	1,060	64	47,872		819	804	平成26年4月 防災センター開設 消防本部・消防署移転 市北部に救急隊派遣
S 5 9	45,364	12,015	38	1,044	51	17,571		814	808	
S 6 0	45,684	12,206	39	1,044	63	136,283	1	852	861	
S 6 1	45,870	12,323	39	1,044	64	72,307	6	863	870	
S 6 2	45,948	12,370	39	1,044	62	241,457	3	825	837	
S 6 3	45,946	12,463	41	1,044	48	64,978	1	865	873	
H 1	46,083	12,580	42	1,044	35	20,680	1	916	963	
H 2	46,244	12,750	45	1,044	42	77,376	1	958	983	
H 3	46,480	12,957	49	1,044	44	34,744		1,008	1,048	
H 4	46,885	13,298	51	1,044	31	30,588		1,049	1,084	
H 5	47,466	13,709	54	1,044	35	42,928	1	1,008	1,017	
H 6	47,884	14,044	56	1,044	70	22,433		1,032	1,061	
H 7	48,491	14,493	57	1,044	70	141,904	1	1,191	1,254	
H 8	48,828	14,775	58	1,044	76	369,276	1	1,250	1,292	
H 9	49,197	15,042	59	1,044	42	51,163	1	1,283	1,335	
H 1 0	49,533	15,377	60	1,044	36	30,758		1,283	1,312	
H 1 1	49,961	15,796	60	874	42	62,609		1,225	1,240	
H 1 2	50,309	16,100	60	874	49	59,588	1	1,370	1,429	
H 1 3	50,383	16,223	60	874	54	76,348	1	1,364	1,435	
H 1 4	50,441	16,441	62	874	36	128,900	1	1,421	1,456	
H 1 5	50,601	16,712	60	874	22	2,297	1	1,453	1,486	
H 1 6	50,653	16,919	62	874	36	73,103	1	1,570	1,599	
H 1 7	50,562	17,111	62	874	40	30,707	3	1,702	1,696	
H 1 8	50,463	17,407	62	874	24	140,682	1	1,734	1,724	
H 1 9	50,415	17,624	63	874	34	30,747		1,725	1,705	
H 2 0	50,390	17,887	64	874	31	622,862	1	1,724	1,692	
H 2 1	50,478	18,212	64	874	21	19,579		1,754	1,678	
H 2 2	50,540	18,460	64	700	19	8,349		1,816	1,727	
H 2 3	50,485	18,656	64	700	29	129,487	1	1,834	1,742	
H 2 4	50,364	18,823	63	700	21	102,297		1,902	1,811	
H 2 5	50,162	19,028	62	700	18	6,291		1,919	1,834	
H 2 6	49,903	19,151	64	700	22	36,228	1	2,108	1,982	
H 2 7	49,495	19,249	65	700	14	55,817	1	2,136	1,986	
H 2 8	49,163	19,332	66	700						

※ 人口・世帯数は、3月31日現在

※ 消防職員数・消防団定員数は、4月1日現在

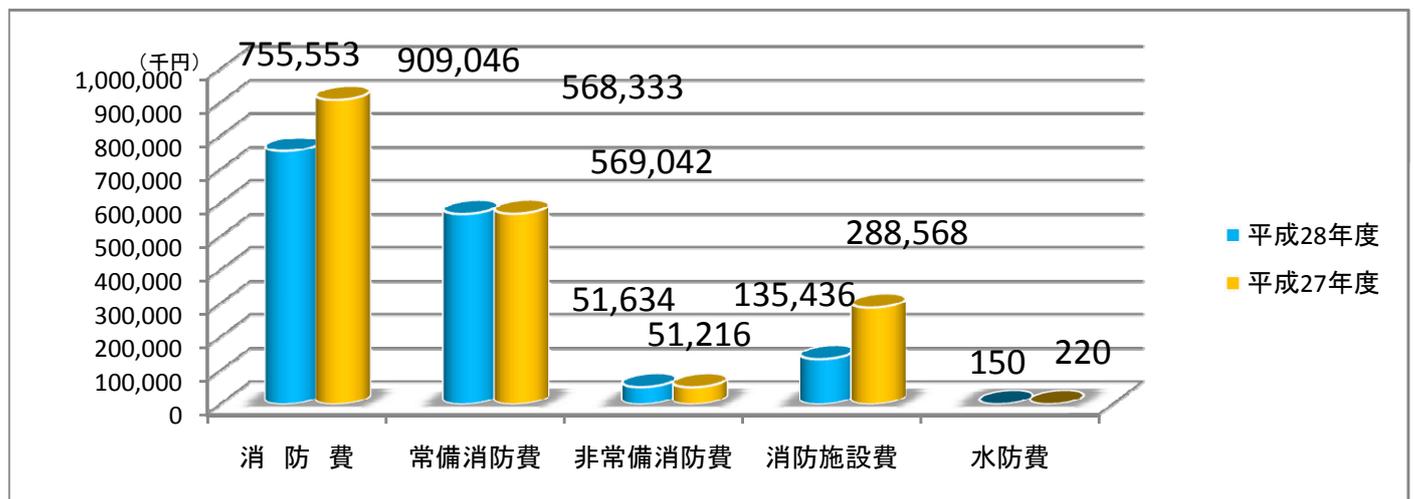
※ 火災件数・損害額・焼死者数・救急件数・搬送人員数は、1月1日から12月31日まで

総務

予算の内訳・前年度比較

(単位:千円)

区分	年度別			
	平成27年度	平成28年度	前年度比較	増減率
一般会計	19,270,000	20,010,000	740,000	3.8%
消 防 費	909,046	755,553	△ 153,493	-16.9%
常備消防費	569,042	568,333	△ 709	-0.1%
非常備消防費	51,216	51,634	418	0.8%
消防施設費	288,568	135,436	△ 153,132	-53.1%
水防費	220	150	△ 70	-31.8%
消防費比率	4.7%	3.8%	-0.9%	



消防職員の表彰等状況

区分	年度別				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
消防庁長官表彰		1	1	1	1
全国消防長会(功労、永年勤続)	6	6	2	3	
全国消防協会表彰(優良消防職員)					
県知事表彰(功労、永年勤続)	1	1	2	2	2
市長表彰(功労、永年勤続)	4		2	1	3
消防長表彰(功労、永年勤続)	3	4	4	2	2
署長表彰(功績)		1	5	3	3

消防職員年齢別状況

(平成28年4月1日現在)

年齢	階級	小計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	年齢合計
19歳		0							0
20歳		2						2	40
21歳		2						2	42
22歳		1						1	22
23歳		1						1	23
24歳		1					1		24
25歳		3					3		75
26歳		1				1			26
27歳		2				2			54
28歳		0							0
29歳		2				1	1		58
30歳		2				2			60
31歳		2				2			62
32歳		2				2			64
33歳		2				2			66
34歳		2				2			68
35歳		2			1	1			70
36歳		1			1				36
37歳		1			1				37
38歳		1			1				38
39歳		2			2				78
40歳		1			1				40
41歳		4			4				164
42歳		3			3				126
43歳		2			2				86
44歳		3			3				132
45歳		2			2				90
46歳		3		2	1				138
47歳		3		3					141
48歳		0							0
49歳		3		3					147
50歳		3		3					150
51歳		1		1					51
52歳		3		3					156
53歳		0							0
54歳		2		2					108
55歳		0							0
56歳		1	1						56
57歳		0							0
58歳		0							0
59歳		0							0
60歳		0							0
合計		66	1	17	22	15	5	6	2528
平均			56.0	49.7	41.3	30.9	25.6	20.8	38.3

消防職員の学校教育状況

種 別		年度別						現職員 累 計	
		平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度		
消防 大学 校	総合教育	新任消防長科						0	
	専科教育	幹 部 科						1	
		予 防 科						1	
		救 助 科						2	
		救 急 科						1	
緊急消防援助隊教育科 航空隊コース								1	
兵庫 県 消 防 学 校	初任教育	初 任 科						65	
	専科教育	災害現場指揮科						2	
		警防科(警防課程含む)						18	
		予防査察科(予防課程含む)						14	
		危険物科						9	
		火災調査科						14	
		救急科	救急科(標準課程含む)						29
			救急Ⅱ課程						32
		特殊災害科						8	
	救助科						25		
	幹部教育	初級幹部科						9	
		中級幹部科						4	
		上級幹部科						4	
	特別教育	はしご自動車科						11	
		潜水科						9	
		ポンプ操法講習会						43	
		惨事ストレス研修						9	
		山岳救助技術研修						10	
	救急救命士養成課程		救急Ⅱ課程						10
	神 戸 市 消 防 学 校	予防査察基礎課程						4	
予防課程						1			
救急Ⅱ課程						4			
救助課程						3			
警防課程						0			
警防小隊長課程						2			
警防指揮課程						3			
火災調査課程						6			
化学災害対応技術課程						1			
機械課程						7			
救急救命士養成課程						12			
救急救命士東京研修所								3	
救急救命士九州研修所追加講習								2	
玉掛・クレーン技能講習		1						24	

消防職員の配置状況

(平成28年4月1日現在)

種別	階級	合計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
条例定数		69	階級別定員なし					
職員数		66	1	17	22	15	5	6
消防本部	消防長	1	1					
	総務課	16		3	10			3
	予防課	13		3	3	4	3	
消防署	消防課	11		4	2	3		2
	救急課	10		3	2	4	1	
	南分署	15		4	5	4	1	1

消防力の現勢

(平成28年4月1日現在)

区分	基準	現有	過不足	充足率	
署所数	2	2	0	100%	
車	消防ポンプ自動車	2	2	0	100%
	化学消防自動車	1	1	0	100%
	高規格救急車	3	3	0	100%
	屈折はしご車	1	1	0	100%
	救助工作車	1	1	0	100%
	指揮広報車	1	1	0	100%
	指令車	1	1	0	100%
両	小型動力ポンプ付積載車	—	1	—	—
	水槽兼薬液搬送車	—	1	—	—
	貨物車(資機材搬送車)	—	2	—	—
	軽四積載車	—	2	—	—
	非常用消防車	1	0	-1	0%
非常用救急車	1	0	-1	0%	
員	消防隊員	39	17	-22	43.6%
	救急隊員	18	18	0	100.0%
	救助隊員	15	4	-11	26.7%
	指揮隊員	9	2	-7	22.2%
	通信員	5	6	1	120.0%
	予防要員	9	11	2	122.2%
	庶務の処理等の要員	5	7	2	140.0%
その他派遣(県消防学校)	—	1	—	—	
合計	100	66	-34	66.0%	

消防職員の免許・資格所有状況

(平成28年4月1日現在)

種 別		階 級		消 防 司令長	消 防 司令補	消 防 士長	消 防 副士長	消 防 士	合 計
		消 防 司令長	消 防 司令補						
自動車 運転 免許	大型特殊一種								0
	大型一種	1	16	22	13				52
	中型一種	1	17	22	12	1			53
	普通一種	1	17	22	15	5	6		66
	牽引一種			1					1
	自動二輪	1	4	12	7	2			26
危険物 取扱者	甲種								0
	乙種 1類		2	1					3
	乙種 2類		1	2					3
	乙種 3類		2	3	4				9
	乙種 4類		9	17	15	5			46
	乙種 5類		1	3	2				6
	乙種 6類		3	5	8				16
	丙種		14	6					20
消防設備士 乙種第6類			3	2	1				6
消防設備士 乙種第7類					1				1
予防技術資格者(防火査察)		1	3	3	2				9
予防技術資格者(消防用設備等)		1	3	2					6
予防技術資格者(危険物)		1	3	4	1				9
救急救命士		1	7	12	9	1	1		31
救急科				1	12	4	4		21
救急標準課程				8					8
救急Ⅱ課程		1	17	13					31
特殊無線従事者		1	11						12
第1級特殊無線技士			1						1
第2級特殊無線技士			5	22	16	4	4		51
アマチュア無線技士			5						5
小型船舶操縦士			5	3					8
小型移動式クレーン			12	10					22
玉掛技能			12	10					22
潜水士			2	9	12				23
車両系建設機械運転技能			1	1	1				3
ガス溶接			2	2					4
特定化学物質等作業主任者			3	5					8
2級ボイラー技士									0
防災士		1							1

平成27年度消防施設整備事業

整備事業名	場所	数量	備考
防災まちづくり事業 防火水槽40m ³ 級Ⅱ型	中谷町 河合中町	2	防災基盤整備事業
防災まちづくり事業 小型動力ポンプ整備事業	新部部 浄谷部 旭・井ノ口部	3	防災基盤整備事業
消防水利標識等設置事業	市内	23	消火栓・防火水槽路面表示
小型動力ポンプ積載車整備事業	王子町 中島町	2	1/2補助事業

予 防

消防用設備等設置状況

(平成28年3月31日現在)

用途別 区分		消 火 設 備					警 報 設 備				避難設備		排煙設備	連結散水設備	連結送水管	消防用水	非常電源		
		消火器	屋内消火栓	スプリンクラー	水噴霧消火設備	屋外消火栓	動力消防ポンプ	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災通報設備	非常警報設備	避難器具					誘導灯	専用	自家
1項	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2				2			2		2					1	2	
	ロ 公会堂又は集会場	10	2				9			7		10						2	
2項	イ キャバレー、カフェー等																		
	ロ 遊技場又はダンスホール	3					3			2		3							
	ハ 性風俗店等																		
3項	イ 待合、料理店等																		
	ロ 飲食店	29					6			15	2	25							
4項	百貨店、マーケット、店舗	72	8	1	2	1	32			19		60	1		1	1	6	6	
5項	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	7	2				6	1	3	1	1	7			1		1	2	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	277	3		1		41	10		37	32	5			3		3	3	
6項	イ 病院、診療所又は助産所	31	1	4	1		17	1	11	9	2	29			1	1	1	4	
	ロ 老人福祉施設等	18	2	17			17		17	8	3	18			1		9	10	
	ハ 老人デイサービスセンター等	29	1	1			21	1	2	1	3	19							
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	5	1				4			1		2					1	1	
7項	小、中、高校、大学、各種学校	47	26				43			31	4	12			2		25		
8項	図書館、博物館、美術館	3	2				2	1									2		
9項	イ 公衆蒸気浴場等																		
	ロ イ以外の公衆浴場	1	1				1			1		1							
10項	停車場等																		
11項	神社、寺院、教会等	13					1			2		2							
12項	イ 工場又は作業場	624	115		8	29	242			11	1	67			3	12	83	5	
	ロ 映画スタジオ等																		
13項	イ 車庫又は駐車場	48			6		3												
	ロ 飛行機格納庫																		
14項	倉庫	449	44	1	3	10	121					41			1	2	33	1	
15項	その他の事業場	175	25		11	1	62			35	6	47		2			21	5	
16項	イ 複合用途(特定)	128	3	2			40		2	20	15	58	1		1		3	3	
	ロ 複合用途(非特定)	71	2	1		1	7			9	3	4			1	1	1	1	
16項の2	地下街																		
16項の3	準地下街																		
17項	重要文化財等の建築物	3					2												
18項	アーケード																		
合 計		2,046	240	27	32	42	0	683	14	35	211	72	413	2	2	15	17	190	45

防火対象物の状況

(平成28年3月31日現在)

区分 用途別		防火対象物の総数	防火管理者						消防用設備		検査実施数	
			甲種			乙種			点検対象物数	報告済対象物数	予防火査	設置検査
			要選任対象物	届出対象物数	消防計画届出数	要選任対象物	届出対象物数	消防計画届出済数				
1項	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2	2	2				2	2	3	1
	ロ 公会堂又は集会場	10	8	8	8				10	9	10	
2項	イ キャバレー、カフェー等											
	ロ 遊技場又はダンスホール	3	3	3	3				3	2	3	
	ハ 性風俗店等											
	ニ カラオケボックス等	1	1	1	1				1	1	1	
3項	イ 待合、料理店等											
	ロ 飲食店	29	6	5	5	17	15	11	29	5	29	
4項	百貨店、マーケット、店舗	72	25	24	23	18	13	10	72	31	42	10
5項	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	7	3	2	2				7	5	7	
	ロ 寄宿舎、下宿又は共同住宅	290	35	35	26				290	108	14	3
6項	イ 病院、診療所又は助産所	31	14	12	12	2	1	1	31	12	31	17
	ロ 老人短期入所施設等	18	14	14	14				18	17	17	3
	ハ 老人デイサービスセンター等	29	20	20	20	2	2	2	29	29	29	
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	5	3	3	3				5	5	5	
7項	小、中、高校、大学、各種学校	51	13	13	13	1	1	1	51	50	31	7
8項	図書館、博物館、美術館	3	2	2	2				3	2	1	
9項	イ 公衆蒸気浴場等											
	ロ イ以外の公衆浴場	1	1	1	1				1	1	1	
10項	停車場等											
11項	神社、寺院、教会等	13	2	2	2				13	1		1
12項	イ 工場又は作業場	627	45	44	38				627	224	151	42
	ロ 映画スタジオ等											
13項	イ 車庫又は駐車場	48							48	22	8	
	ロ 飛行機格納庫											
14項	倉庫	450	6	6	5				450	131	49	8
15項	その他の事業場	189	33	29	29	3	1	1	189	98	62	11
16項	イ 複合用途(特定)	128	35	28	28	13	12	10	128	25	87	6
	ロ 複合用途(非特定)	71	5	5	4	7	3	3	71	3	13	5
16項の2	地下街											
16項の3	準地下街											
17項	重要文化財等の建築物	3	1	1					3	2		
18項	アーケード											
合計		2,081	277	260	241	63	48	39	2,081	785	594	114

月別・地区別建築同意状況

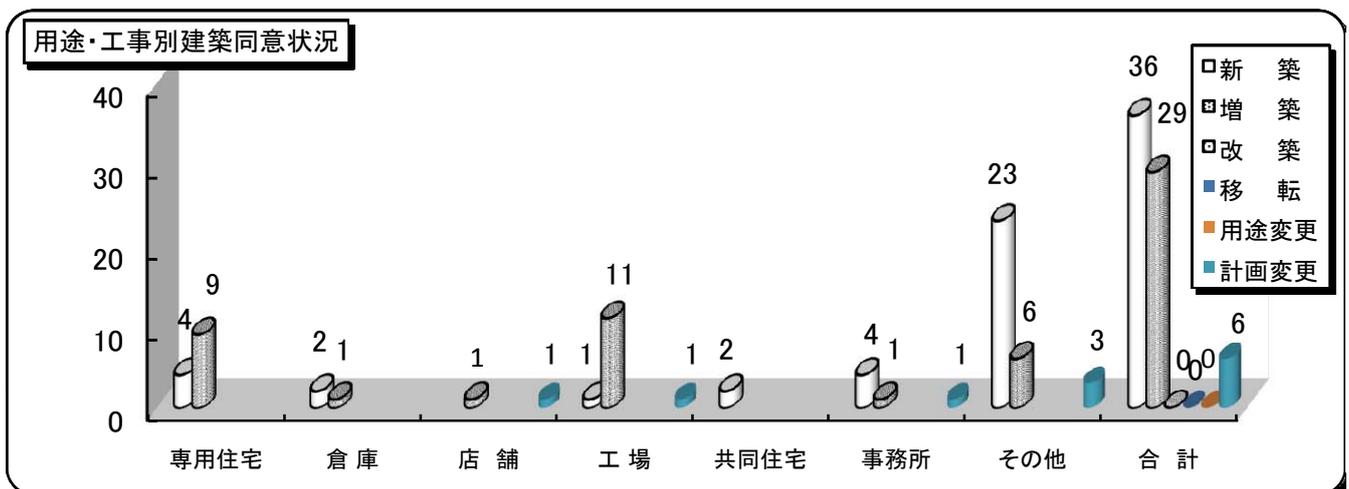
(平成27年度)

月別 \ 地区別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合計
4月	1	1		2	2	3	9
5月	1			1			2
6月	3	1		2	1	2	9
7月	3					1	4
8月						1	1
9月	1	1		3	2	1	8
10月	7			2	1		10
11月	2				1		3
12月				2		1	3
1月	2			2		1	5
2月	1	1		1	1		4
3月	6			2	4	1	13
合計	27	4	0	17	12	11	71

用途・工事別建築同意状況

(平成27年度)

工事別 \ 用途別	専用住宅	倉庫	店舗	工場	共同住宅	事務所	その他	合計
新築	4	2		1	2	4	23	36
増築	9	1	1	11		1	6	29
改築								0
移転								0
用途変更								0
計画変更			1	1		1	3	6
合計	13	3	2	13	2	6	32	71



各種届出指示状況

(平成27年度)

内 容	計	総 計
防火管理者選任（解任）届	80	1,139
消防計画作成（変更）届	111	
消防訓練計画届	279	
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届	130	
工事整備対象設備等着工届・工事計画届	76	
防火対象物使用開始届	43	
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書	385	
発電・変電・蓄電池設備届	35	
指示書による指示件数		30
甲種防火管理新規講習課程修了証		43
乙種防火管理講習課程修了証		0
甲種防火管理再講習課程修了証		12

一般家庭・高齢者（独居）家庭の防火診断実施状況

(平成28年3月31日現在)

区 分	地区別							合計
	小野	河合	来住	市場	大部	下東条		
一般家庭実施件数								0
累 計	545	734	226	669	237	343		2,754
高齢者（独居）家庭実施件数						39		39
累 計	294	237	164	164	165	258		1,282
総診断数	839	971	390	833	402	601		4,036

中高層建築物等状況

(平成28年3月31日現在)

階 数	地 階	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	合計
棟 数	40	217	54	39	3	4	0	2	1	360

危険物施設状況

(平成28年3月31日現在)

指定数量別 製造所等の区分		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下	1000倍を超える	計
		製造所		4	1	4				1
貯蔵所	屋内貯蔵所	20	10	14	3	6		2	3	58
	屋外タンク貯蔵所	8	6	21	4	1		2		42
	屋内タンク貯蔵所	1	1							2
	地下タンク貯蔵所	19	10	12	1					42
	簡易タンク貯蔵所									0
	移動タンク貯蔵所	17	1	3	3					24
	屋外貯蔵所	2	3	4						9
取扱所	給油取扱所	9	4	15	3	3	3	7		44
	第1種販売取扱所									0
	第2種販売取扱所									0
	移送取扱所									0
	一般取扱所	33	15	10	1			1		60
計		109	54	80	19	10	3	13	3	291

許可・完成検査・承認数状況

(平成27年度)

許可等の区分 製造所等の区分		許可		完成検査		タンク検査	廃止及び転出
		設置	変更	設置	変更		
製造所		1	6	2	5		
貯蔵所	屋内貯蔵所	1		1			
	屋外タンク貯蔵所		1	1	1		
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所		2	1	2		3
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所		1				1
	屋外貯蔵所						
取扱所	給油取扱所		5		5		
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所						
	移送取扱所						
	一般取扱所		19	1	20		2
計		2	34	6	33	0	6

仮使用承認数	仮貯蔵・仮取扱承認数	合計
31	2	33

危険物規制事務処理状況

(平成27年度)

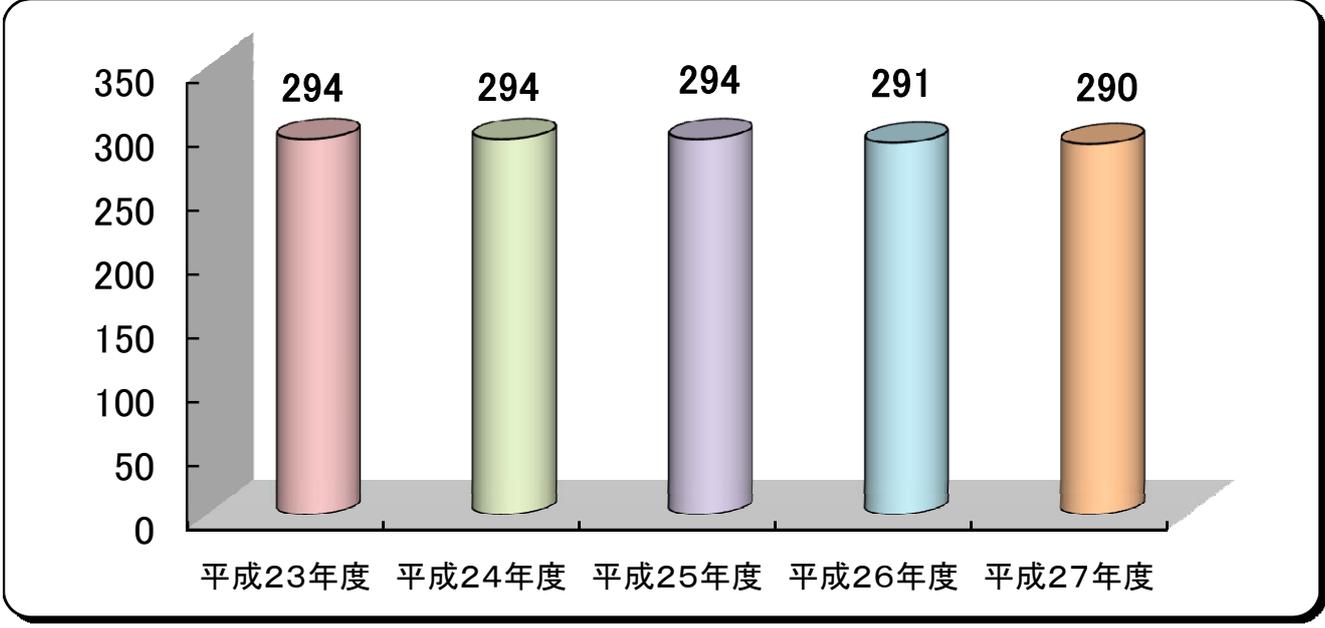
申 請 ・ 届 出 ・ 報 告 等 項 目	件 数
予防規程制定・変更認可申請	10
危険物製造所等軽微変更届	120
危険物製造所等譲渡引渡届	1
危険物製造所等危険物品名・数量変更届	5
危険物製造所等廃止届	7
危険物製造所等休止届	1
危険物製造所等危険作業届	8
危険物製造所等定期点検結果報告	133
危険物施設保安員選任届	0
危険物保安監督者選任届	11
危険物取扱作業従事者届	86
危険物製造所等消防設備関係届	5
少量危険物貯蔵取扱い届	15
少量危険物廃止届	5
指定可燃物貯蔵取扱い届	2
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス等貯蔵取扱い届	7
炉・かまど・ボイラー等設置届	57
改善計画書	49
LPG設備工事届	7
その他	16
合 計	545

危険物施設立入検査状況

(平成27年度)

製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	貯屋 蔵 所 内	屋 貯 外 蔵 所 タ ン ク	屋 貯 内 蔵 所 タ ン ク	地 貯 下 蔵 所 タ ン ク	簡 貯 易 蔵 所 タ ン ク	移 貯 動 蔵 所 タ ン ク	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
7	55	44	1	12	0	23	2	137	16	34	50	194

過去5年間の危険物施設数（完成検査済）状況



年度別	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
件数	294	294	294	291	290

手数料収入額状況

（平成27年度）
（単位：千円）

許可手数料		完成検査 手数料	タンク検査 手数料		仮使用 手数料	仮貯蔵 仮取扱 手数料	合計
設置	変更		水張	圧力			
59	787	485	0	0	167	11	1,509

県委譲事務処理状況

（平成27年度）

液化石油ガス関係		高圧ガス関係		火薬類関係	
設備工事届	立入検査	立入検査	行政措置	立入検査	行政措置
7	7	1	1	0	0

防火防災組織の状況

団 体 名		人員	結成年月日	活 動 状 況
小野市幼年婦人防火委員会 (会長 近都 登志人)		6	昭和60年4月1日	・ 防火防災組織の育成指導
婦人防火クラブ	小野市婦人防火クラブ		昭和60年4月1日	・ 防火街頭宣伝活動 ・ 家庭防火診断の推進 ・ その他の防火広報活動
幼年消防クラブ	北辰保育園幼年消防クラブ	127	昭和60年7月1日	・ 避難訓練の実施 ・ 防火教室の開催 ・ 防火絵画展開催 ・ 消防大会への参加 ・ ふれあい発表会
	来住保育所幼年消防クラブ	181	昭和60年12月1日	
	小野保育所幼年消防クラブ	238	昭和61年2月1日	
	下東条西保育所幼年消防クラブ	123	昭和62年11月1日	
	育ヶ丘保育園幼年消防クラブ	90	昭和63年7月1日	
	粟生保育所幼年消防クラブ	92	平成10年2月28日	
女性消防隊	育ヶ丘女性消防隊 (隊長 中井 智子)	15	昭和54年4月1日	・ 消防機器の点検・訓練 ・ 防火広報活動の実施 ・ 初期消火活動 ・ 防火・救急教室の開催 ・ 自衛消防競技会への参加 ・ 消防大会への参加
	高山町女性消防隊 (隊長 鈴木 佳美)	5	昭和60年4月1日	
	小野ニュータウン女性消防隊 (隊長 山本 圭子)	15	平成4年9月1日	
その他	小 野 市 防 火 協 会 (会長 宮岡 督修)	249	昭和48年4月1日	・ 防火広報誌の発行 ・ 各種防火広報活動 ・ 各種防火研修会の開催
	小野匠工業会防災連絡委員会 (委員長 宮岡 祐士)	30	平成6年4月1日	・ 消火、防火訓練の実施 ・ 防火、救急講習会の実施 ・ 防火広報活動の実施 ・ 自衛消防競技会への参加

消 防



平成27年 火災概要



《火災概要》

1 火災件数と火災種別

平成27年中の火災件数は14件で、昨年の22件より8件減となり、消防本部発足以来最少件数となった。

火災種別ごとにみると、もっとも多く発生しているのが、建物火災の10件(約71.4%)で、次にその他火災の3件(約21.4%)、続いて林野火災の1件(約7.2%)となっている。

2 火災程度

建物火災を火災程度別にみると、全焼が3件(30%)、半焼が1件(10%)、部分焼が3件(30%)、ぼやが3件(30%)となっている。

3 出火原因

出火原因でもっとも多いのは、「天ぷら油、たばこ、電気配線」による火災が各2件発生しており、次いで「放火の疑い、火遊び、草焼き、ストーブ、火工品」が各1件発生している。なお、「その他」は1件、「不明」は2件であった。

4 火災による死傷者

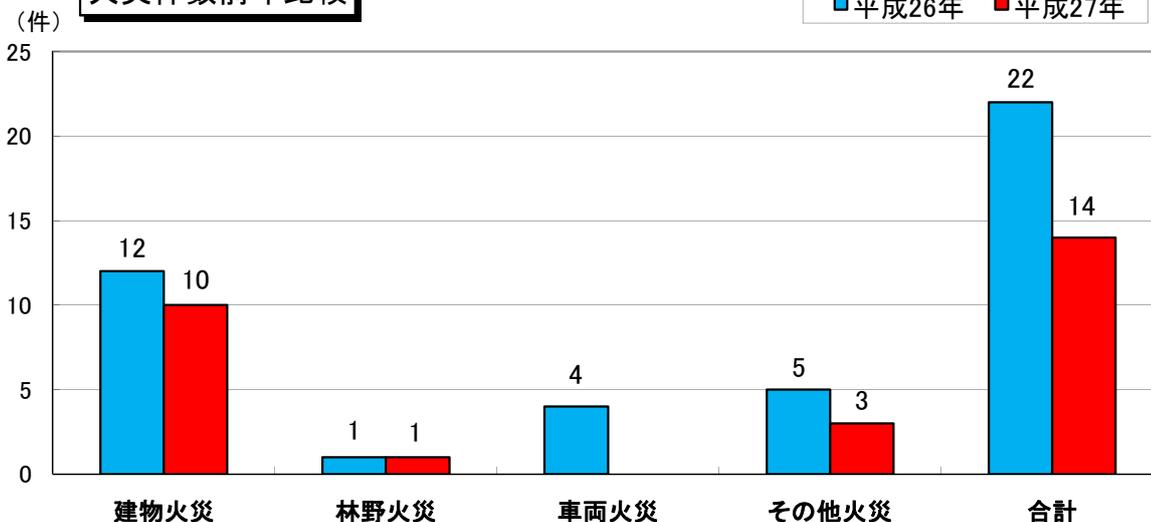
平成27年中の火災による死傷者数は、死者、負傷者が各1名発生した。(昨年死者2名、負傷者1名)

5 焼損面積

焼損面積については、建物焼損表面積が0㎡(昨年24㎡)、焼損床面積が500㎡(昨年357㎡)で、焼損面積の合計は500㎡(昨年381㎡)となっている。

林野火災の焼損面積は、20a(昨年2a)となっている。

火災件数前年比較

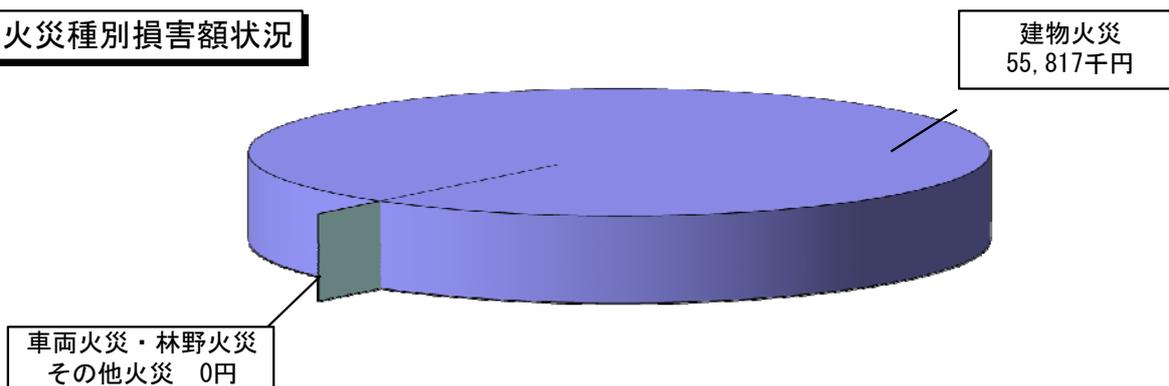


《火災損害状況》

平成27年の火災総損害額は、55,817千円で、昨年(36,228千円)に比べ19,589千円増加している。

火災種別で見ると、建物火災のみで、55,817千円となっている。

火災種別損害額状況

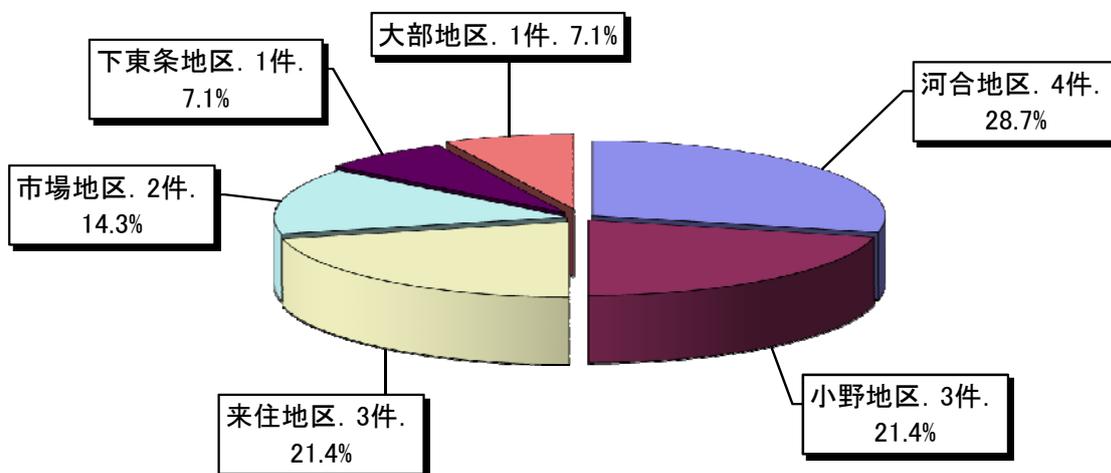


《地区別火災概要》

火災件数を地区別で見ると、河合地区が4件、次いで小野地区、来住地区が各3件、市場地区が2件、下東条地区、大部地区が各1件となっている。

火災種別で見ると、建物火災は小野・河合地区で各3件、市場地区で2件、来住・大部地区で各1件の発生となっている。

地区別火災件数



過去10年間の火災概要

火災種別出火件数の推移

(件)

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成17年	20	3	1	16	40
平成18年	11	2	3	8	24
平成19年	18	4	3	9	34
平成20年	18	4	3	6	31
平成21年	11	3	1	6	21
平成22年	9	0	2	8	19
平成23年	9	6	0	14	29
平成24年	11	3	0	7	21
平成25年	9	3	3	3	18
平成26年	12	1	4	5	22
平成27年	10	1	0	3	14

火災種別損害額の推移

(千円)

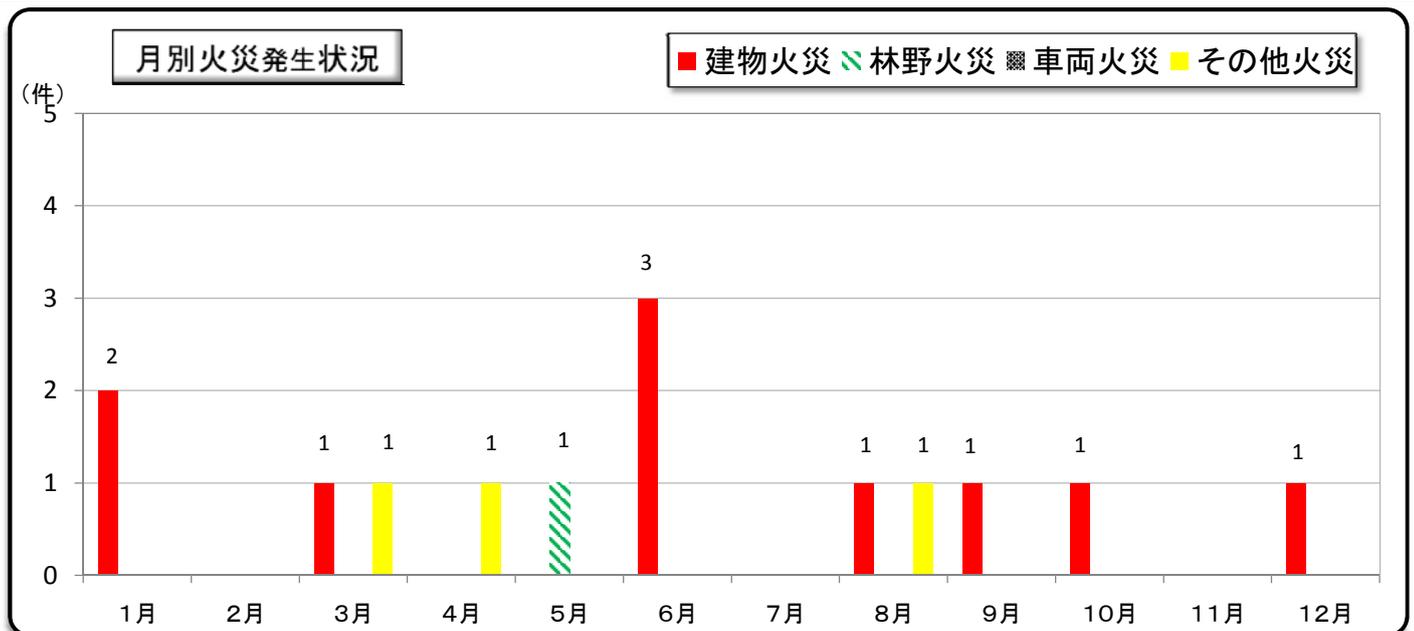
	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成17年	30,061	0	10	636	30,707
平成18年	138,788	0	1,777	117	140,682
平成19年	29,721	0	977	49	30,747
平成20年	621,464	0	1,397	1	622,862
平成21年	18,579	0	1,000	0	19,579
平成22年	8,087	0	209	53	8,349
平成23年	126,951	29	0	2,507	129,487
平成24年	102,296	0	0	1	102,297
平成25年	5,788	0	503	0	6,291
平成26年	35,976	0	211	41	36,228
平成27年	55,817	0	0	0	55,817

火災状況前年比較

区 分		年 別	平成27年			平成26年			前年比較		
			本 署	南分署	合 計	本 署	南分署	合 計	本 署	南分署	合 計
火 災 件 数 (件)	合 計	9	5	14	14	8	22	-5	-3	-8	
	建物火災	7	3	10	7	5	12	0	-2	-2	
	林野火災	0	1	1	1	0	1	-1	1	0	
	車両火災	0	0	0	2	2	4	-2	-2	-4	
	その他火災	2	1	3	4	1	5	-2	0	-2	
損 害 額 (千円)	合 計	46,124	9,693	55,817	11,443	24,785	36,228	34,681	-15,092	19,589	
	建物火災	46,124	9,693	55,817	11,358	24,618	35,976	34,766	-14,925	19,841	
	林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両火災	0	0	0	44	167	211	-44	-167	-211	
	その他火災	0	0	0	41	0	41	-41	0	-41	
焼 損 面 積	建 物	焼損合計(m ²)	435	65	500	105	276	381	330	-211	119
		焼損床面積(m ²)	435	65	500	89	268	357	346	-203	143
		焼損表面積(m ²)	0	0	0	16	8	24	-16	-8	-24
	林 野 (a)	0	20	20	2	0	2	-2	20	18	
焼損棟数(棟)		9	3	12	7	5	12	2	-2	0	
り災世帯数(世帯)		5	1	6	4	3	7	1	-2	-1	
り災人員(人)		14	6	20	16	9	25	-2	-3	-5	
焼損車両数(台)		0	0	0	2	2	4	-2	-2	-4	
負傷者(人)		1	0	1	1	0	1	0	0	0	
死 者(人)		1	0	1	0	2	2	1	-2	-1	
出 動 人 員	消防職員(人)	140	65	205	142	109	251	-2	-44	-46	
	消防団員(人)	131	10	141	71	46	117	60	-36	24	
	合 計(人)	271	75	346	213	155	368	58	-80	-22	

月別火災発生状況

区 分		年 別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災 件数 (件)	合 計	2	0	2	1	1	3	0	2	1	1	0	1	14
	建物火災	2	0	1	0	0	3	0	1	1	1	0	1	10
	林野火災	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	車両火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他火災	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
損 害 額 (千円)	合 計	421	0	72	0	0	30,298	0	992	43	22,980	0	1,011	55,817
	建物火災	421	0	72	0	0	30,298	0	992	43	22,980	0	1,011	55,817
	林野火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼 損 面 積	建													
	焼損合計(㎡)	27	0	2	0	0	295	0	6	0	170	0	0	500
	焼損床面積(㎡)	27	0	2	0	0	295	0	6	0	170	0	0	500
	焼損表面積(㎡)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	林 野 (a)	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	20
焼損棟数(棟)		2	0	1	0	0	4	0	1	1	2	0	1	12
り災世帯数(世帯)		1	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	6
り災人員(人)		4	0	2	0	0	5	0	6	0	3	0	0	20
焼損車両数(台)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷者(人)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
死 者(人)		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
出 動 人 員	消防職員(人)	25	0	26	4	15	55	0	30	18	27	0	5	205
	消防団員(人)	8	0	15	0	0	76	0	0	0	42	0	0	141
	合 計(人)	33	0	41	4	15	131	0	30	18	69	0	5	346



時間別火災発生状況

(件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
	建物	林野	車両	その他													
0時～1時																	0
1時～2時																	0
2時～3時																	0
3時～4時																	0
4時～5時																	0
5時～6時												1	1				1
6時～7時																	0
7時～8時																	0
8時～9時																	0
9時～10時					1									1			1
10時～11時								1	1					2			2
11時～12時																	0
12時～13時				1												1	1
13時～14時						1								1			1
14時～15時	1							1						1		1	2
15時～16時																	0
16時～17時																	0
17時～18時						1								1			1
18時～19時			1											1			1
19時～20時			1													1	1
20時～21時	1													1			1
21時～22時										1				1			1
22時～23時																	0
23時～24時						1								1			1
不明																	0
合計	2	0	2	1	1	3	0	2	1	1	0	1	10	1	0	3	14

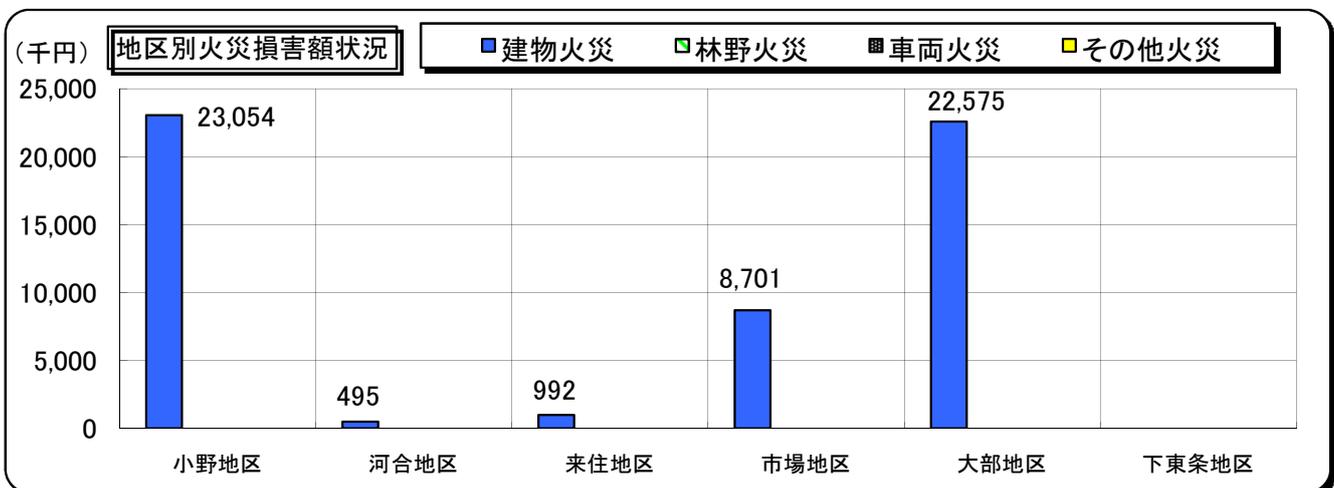
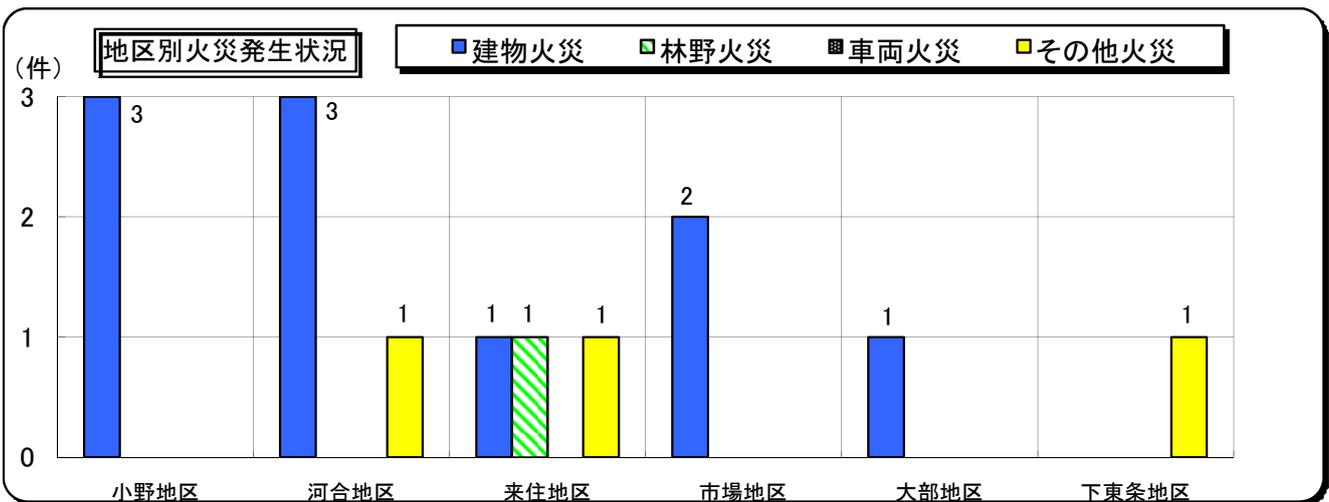
曜日別火災発生状況

(件)

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
	建物	林野	車両	その他													
日曜日																	0
月曜日					1			1							1	1	2
火曜日	1					1			1					3			3
水曜日			1											1			1
木曜日																	0
金曜日	1		1	1		1		1		1		1		5		2	7
土曜日						1								1			1
不明																	0
合計	2	0	2	1	1	3	0	2	1	1	0	1	10	1	0	3	14

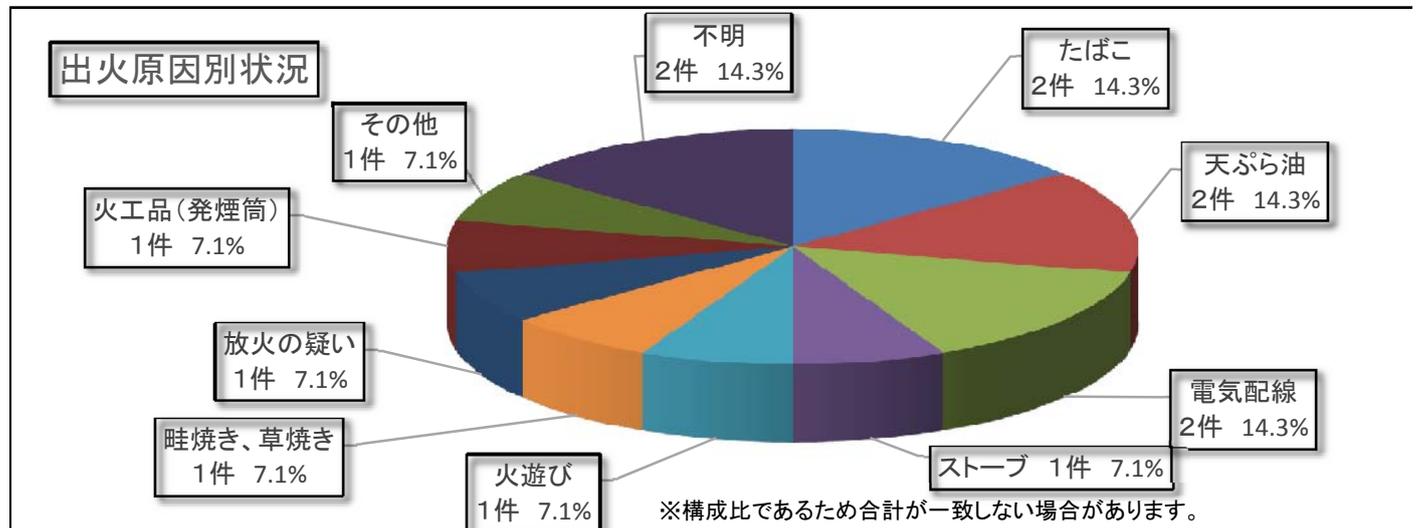
地区別火災発生・損害額状況

種 別 \ 地区別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	合 計
建物火災(件)	3	3	1	2	1	0	10
損害額(千円)	23,054	495	992	8,701	22,575	0	55,817
林野火災(件)	0	0	1	0	0	0	1
損害額(千円)	0	0	0	0	0	0	0
車両火災(件)	0	0	0	0	0	0	0
損害額(千円)	0	0	0	0	0	0	0
その他火災(件)	0	1	1	0	0	1	3
損害額(千円)	0	0	0	0	0	0	0
火災件数合計(件)	3	4	3	2	1	1	14
損害額合計(千円)	23,054	495	992	8,701	22,575	0	55,817



出火原因別状況

原因	火災件数表(件)					損害額 (千円)	焼損面積			負傷者 (人)	死者 (人)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物床 面積 (m ²)	建物表 面積 (m ²)	林野(a)		
畦焼き・草焼き	1	1				33	6				
その他焼却中	0										
煙火	0										
たばこ	2	1			1	2					
マッチ・ライター	0										
線香・ローソク	0										
焚火	0										
その他裸火	0										
天ぷら油	2	2				23,567	236				
ストーブ	1	1				72	2				1
炉・かまど	0										
風呂の空だき	0										
電気配線	2	2				30,670	229			1	
電気器具	0										
溶接等の火花	0										
煙突	0										
摩擦	0										
その他高温の固体	0										
自然発火・化学反応	0										
火遊び	1	1				419	27				
放火	0										
放火の疑い	1	1				43					
火工品(発煙筒)	1				1						
天災(落雷)	0										
不明	2		1		1				20		
その他	1	1				1,011					
合計	14	10	1	0	3	55,817	500	0	20	1	1

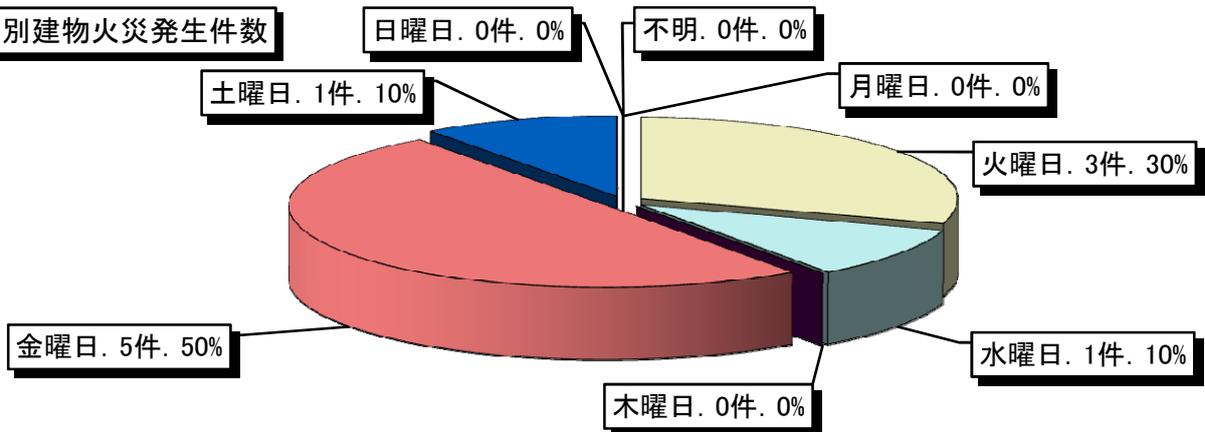


建物用途別火災発生状況

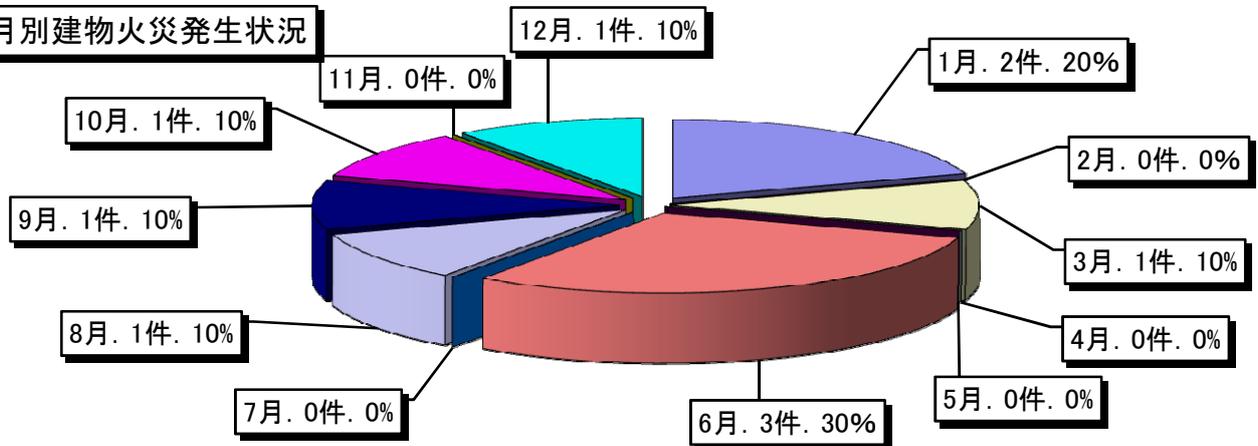
用途別		専用住宅	共同住宅	作業場	店舗	その他	合計
発生件数(件)		3	2	1	1	3	10
火災損害額(千円)		46,547	491	1,011	7,690	78	55,817
焼損面積	床面積(m ²)	406	29	0	59	6	500
	表面積(m ²)	0	0	0	0	0	0

その他

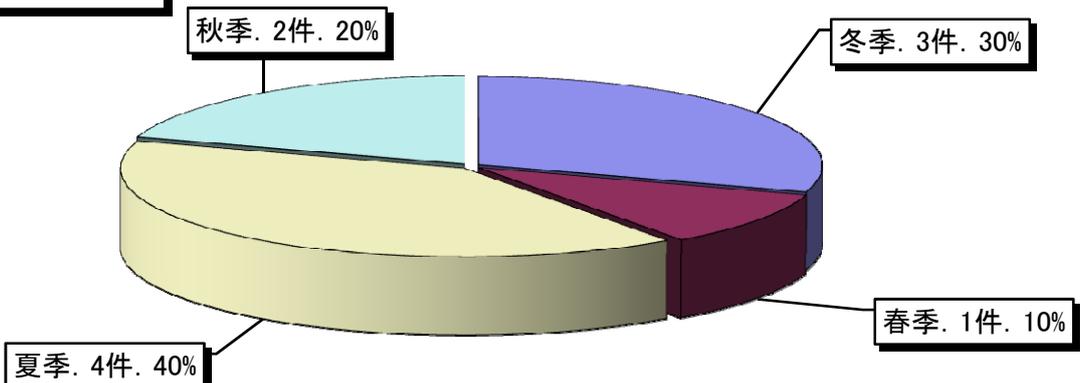
曜日別建物火災発生件数



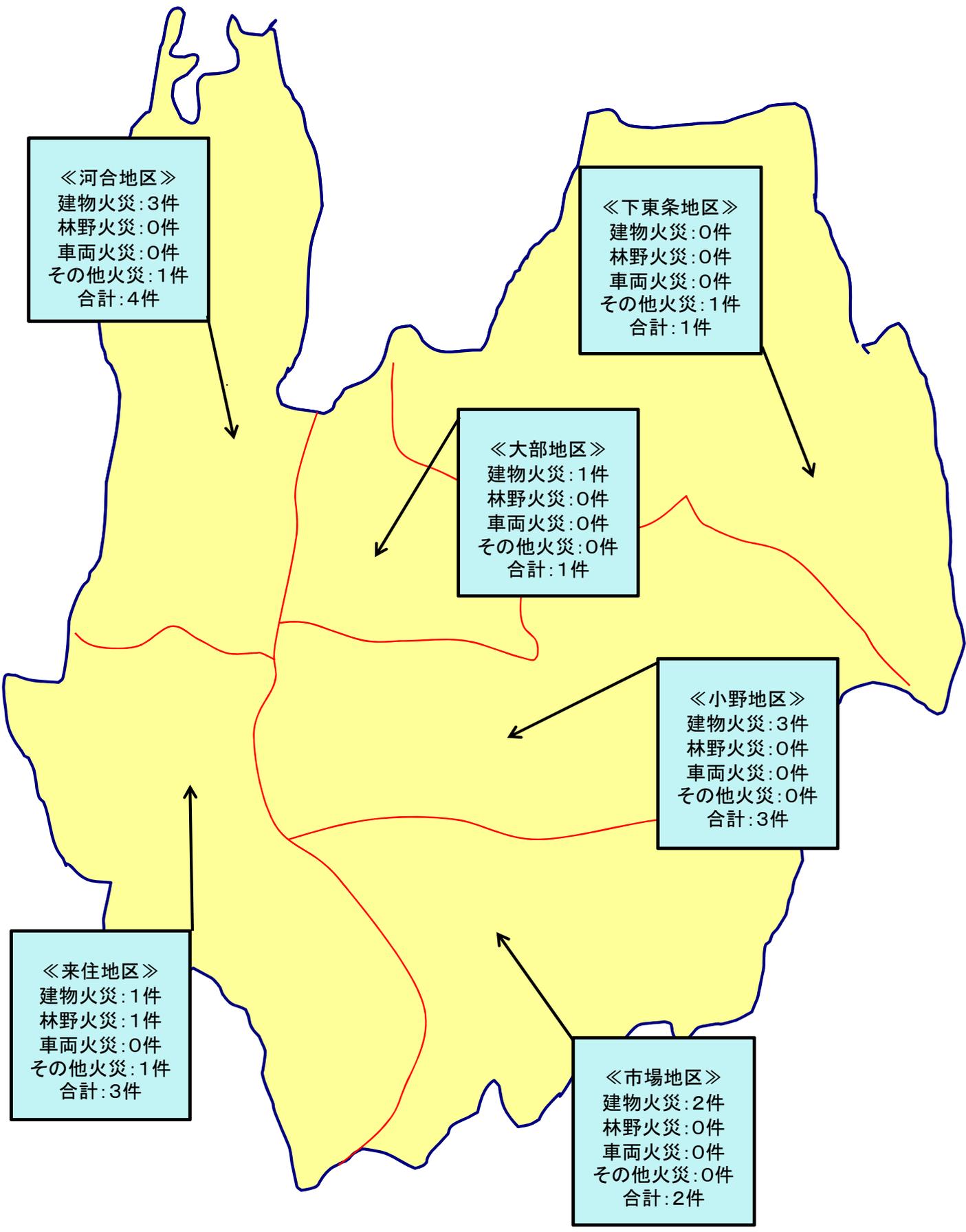
月別建物火災発生状況



四季別建物火災発生状況



地区別火災発生状況全体図



消防水利状況

(平成28年3月31日現在)

防火水槽	消火栓	合計
482	1,324	1,806

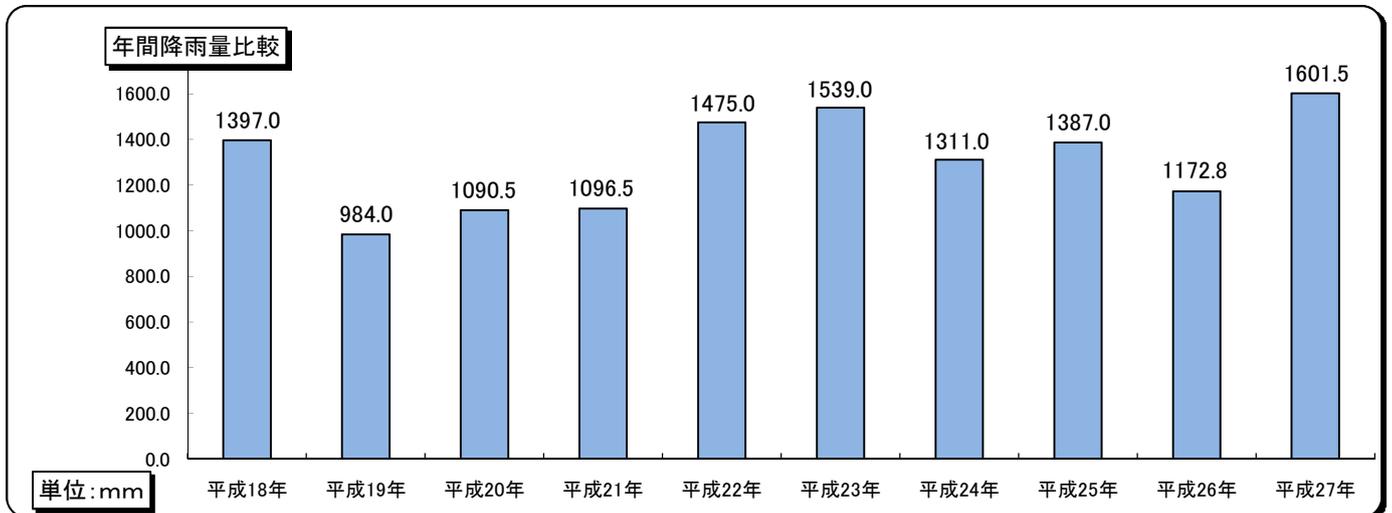
過去10年間の降雨量

(単位:mm)

年別	月別												合計	年間平均
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
平成18年	36.0	81.5	112.0	112.0	132.5	156.5	305.0	71.0	137.5	94.5	89.0	69.5	1,397.0	116.4
平成19年	13.5	50.0	91.0	23.5	126.0	136.5	226.0	65.5	59.0	105.0	16.0	72.0	984.0	82.0
平成20年	57.5	39.5	98.0	137.0	153.5	100.5	77.0	111.5	151.5	87.5	48.5	28.5	1,090.5	90.9
平成21年	33.0	132.5	112.0	66.5	51.0	77.0	183.5	140.5	54.0	84.5	144.5	47.5	1,096.5	91.4
平成22年	24.0	113.0	149.0	210.0	172.0	270.5	156.5	34.5	126.5	143.0	11.0	65.0	1,475.0	122.9
平成23年	3.5	67.5	24.5	89.0	309.0	99.0	110.0	55.5	500.5	183.0	86.5	11.0	1,539.0	128.3
平成24年	27.0	80.5	141.5	118.0	37.5	229.5	216.0	53.0	145.0	77.0	91.5	94.5	1,311.0	109.3
平成25年	40.0	63.0	43.5	68.5	50.5	185.0	99.5	158.5	365.5	170.0	64.0	79.0	1,387.0	115.6
平成26年	28.5	40.0	135.5	74.8	79.0	61.0	73.0	306.5	48.0	190.0	60.0	76.5	1,172.8	97.7
平成27年	97.5	22.0	123.5	107.5	85.0	156.0	335.5	193.5	172.0	46.5	139.0	123.5	1,601.5	133.5

は各年の最高降雨月を示す。

は各年の最少降雨月を示す。



消防機械器具保有状況

(平成28年3月31日現在)

No. 1

品名	区分	平成28年	平成27年	本署	南分署	備考
放水器具	65mmホース	176	184	118	58	
	50mmホース	178	179	124	54	
	40mmホース	70	64	44	26	
	ホースカー	3	3	2	1	
	ホース背負い器	21	22	10	11	
	ホースバック	7	6	3	4	
	普通筒先	4	4	3	1	
	無反動筒先65mm	11	11	8	3	
	無反動筒先50mm	21	21	13	8	
	プロジェクトガン40mm	9	9	5	4	
	クアドラフォグノズル	2	2	1	1	
	槍管そう	2	2	1	1	
	ロータリーノズル	1	1	1	0	
	ストレートノズル	5	5	3	2	
	放水砲	1	1	0	1	
	放水銃	2	2	1	1	
	分岐管(65→65)	6	6	3	3	
	// (65→40)	2	2	1	1	
	// (50→50)	8	6	4	4	
	// (65・50マルチ)	3	4	2	1	
	集水器(65→65)	6	6	4	2	
	スタンドパイプ	9	9	3	6	
	ストップバルブ(65)	10	10	7	3	
	ストップバルブ(50)	5	5	3	2	
	差込式雄媒介	3	3	2	1	
	媒介(雄×雄)65-65	14	15	7	7	
	// (雄×雄)50-50	2	1	2	0	
	// (雌×雌)65-65	16	17	9	7	
	// (雌×雌)50-50	4	3	4	0	
	// (雌×雄)65-50	27	23	12	15	
	// (雌×雄)65-40	15	15	5	10	
	// (雌×雄)50-40	16	15	8	8	
	// (雌×雄)50-65	11	9	8	3	
	L型アダプタ	2	2	2	0	
	吸管結合中継金具	5	3	1	4	
	ロープ式吸管結合金具	6	6	3	3	
	消火栓キー	8	8	6	2	
	防火水槽キー	7	5	3	4	
	消火栓ハンドル	12	15	5	7	
	丸型消火栓ハンドル	12	11	6	6	

品名 / 区分		平成28年	平成27年	本署	南分署	備考
放水器具	吸管スパナ	20	18	11	9	
	ちりよけ籠	12	10	7	5	
	ディスクストレナー	2	3	2	0	
	ストレナー	20	16	7	13	
	まくら木	17	17	9	8	
	ラインプロポーション	8	7	4	4	
	低発泡ノズル	7	7	5	2	
	簡易発泡ノズル	2	2	0	2	
	高発泡器一式	3	3	1	2	
	排煙型高発泡装置	1	1	0	1	
	エアフォーム	6,360	6,360	540	5,820	
	アルコフォーム	160	880	120	40	
	ターボポンプ	1	1	1	0	
	可搬式動力ポンプ (B-3級)	1	1	1	0	
	可搬式動力ポンプ (B-2級)	1	1	1	0	
	可搬式動力ポンプ (C-1級)	2	2	1	1	
	高圧ポンプ	1	1	0	1	
	背負い式消火水のう	39	30	18	21	
	ウォーターチャージャー	3	3	1	2	
	ホースブリッジ	24	24	15	9	
ホース応急バンド	23	22	14	9		
照明器具	投光器 (三脚付)	8	8	6	2	
	水中投光器	16	15	10	6	
	信号器付灯光器用発電機	1	1	1	0	
	信号器付投光器三脚	1	1	1	0	
	信号器付投光器	1	1	1	0	
	合図灯	34	31	19	15	
	発電機	6	6	4	2	
	LEDライト	8	8	8	0	
	日光ライト	26	23	9	17	
	コードリール	22	18	17	5	
作業器具	とび口	13	18	9	4	
	バール	16	18	10	6	
	斧	5	4	4	1	
	剣先スコップ	6	6	4	2	
	かけや	3	3	2	1	
	鉄ハンマー	6	6	5	1	
	万能斧	21	20	14	7	
	ボルトクリッパー	10	10	6	4	
	パイプレンチ	3	3	2	1	
	防火用具一式	2	2	2	0	

品名		区分	平成28年	平成27年	本署	南分署	備考
作業器具	鋸		3	1	3	0	
	ナタ		2	2	1	1	
	カマ		4	1	4	0	
	電気ドリル		2	1	1	1	
	アーク溶接機		1	1	0	1	
	ガス溶断器		1	1	0	1	
	グラインダー		2	2	1	1	
	ディスクグラインダー		3	2	1	2	
	ガレージジャッキ		2	2	1	1	
	充電機		2	2	1	1	
	コンプレッサー		2	2	1	1	
	チェーンブロック		1	1	0	1	
	整備工具		3	3	2	1	
	万力		2	2	1	1	
	脚立		9	8	6	3	
	緊急用防災器具		2	2	2	0	
	一般救助器具	鉤付はしご		6	6	5	1
二連梯子			1	1	0	1	
三連梯子			6	5	4	2	
ワイヤー梯子			1	1	1	0	
空気式救助マット			1	1	1	0	
シットハーネス			13	10	13	0	
エバックハーネス			1	1	1	0	
サバイバースリング			2	1	2	0	
バスケット担架			4	4	3	1	
吊り下げベルト			2	2	2	0	
縛帯			3	2	1	2	
簡易縛帯			2	1	2	0	
平担架			3	2	2	1	
スケッドストレッチャー			1	1	1	0	
エッジローラー			2	2	2	0	
エッジプロテクター			2	2	2	0	
エイト環			5	5	3	2	
マンホール救助器具			2	1	2	0	
ベルトスリング			17	13	13	4	
ステップチョーク			2	2	2	0	
ウェッジ			2	2	2	0	
ロックブロック			6	2	6	0	
ジャッキ敷板			6	4	6	0	
アリゾナボーテックス			1	1	1	0	
電動コンピツール			1	1	1	0	
油圧ホース 5m			4	4	2	2	
張力計		2	1	2	0		

品名		区分	平成28年	平成27年	本署	南分署	備考
重量物排除器具	チルホールー式		4	4	4	0	
	ポートパワー		2	2	1	1	
	プランジャーラム		1	1	1	0	
	スプレッター		2	2	1	1	
	ハンドポンプ		1	1	1	0	
	リフトバック		5	5	5	0	
	ゴージャック		4	4	4	0	
	ラムサポート		1	1	1	0	
	エンジン式油圧ポンプ		2	2	1	1	
	ホースリール		1	1	1	0	
	切断器具	エンジンカッター		4	4	3	1
チェーンソー			5	5	3	2	
アークエアー			1	1	1	0	
油圧カッター			2	2	1	1	
油圧ミニカッター			1	1	1	0	
ペダルカッター			0	0	0	0	
充電式電動レシプロソー			1	1	1	0	
フットポンプ			0	0	0	0	
空気鋸			1	1	1	0	
電動ソー			1	1	1	0	
救助はさみ			4	4	3	1	
破壊器具	削岩機		2	2	2	0	
	ストライカー		2	2	1	1	
	ハンマードリル		1	0	1	0	
	電動ハンマードリル		2	2	2	0	
	エンジン式ハンマードリル		1	1	1	0	
	ウインドポンチ		5	5	4	1	
測定器具	火災原因調査用品		10	10	6	4	
	熱画像直視装置		2	2	2	0	
	非接触温度計		2	2	1	1	
	可燃性ガス測定器		3	3	2	1	
	有毒ガス測定器		1	1	1	0	
	放射能測定器		2	2	2	0	
	放射線量計		10	10	10	0	
	検電器		3	3	3	0	
保安器具	空気呼吸器		27	23	21	6	
	酸素呼吸器		10	10	5	5	
	酸素呼吸器用ポンペ		22	19	13	9	
	簡易呼吸器		2	2	2	0	
	テンペストブロアー		1	1	1	0	
	送排風機		1	1	1	0	
	耐電服		6	4	6	0	
	耐電ブーツ		4	2	4	0	

品名		区分	平成28年	平成27年	本署	南分署	備考
保安器具	耐電手袋		13	13	10	3	
	夜光チョッキ (LED)		28	24	15	13	
	エアバックカバー		4	4	3	1	
	安全帯		26	28	20	6	
	携帯警報器		5	5	5	0	
	耐熱服		8	9	4	4	
	防毒服		5	5	0	5	
	化学防護服		6	6	6	0	
	放射線防護服		2	2	2	0	
	防毒マスク		23	23	17	6	
水難器具	救命用ボート		4	4	2	2	
	船外機		3	3	2	1	
	救命浮輪		6	5	3	3	
	スローバック		5	3	5	0	
	救命胴衣		105	99	70	35	
	救命索発射銃		1	2	1	0	
	レスキューMAX		1	1	1	0	
	ファイバースコープ		2	2	2	0	
	ウエットスーツ・3点セット		17	17	14	3	
	ドライスーツ		4	0	4	0	
	BCジャケット・レギュレーター		8	8	8	0	
	ジャックナイフ		8	8	8	0	
	メタリコンタンク		10	10	10	0	
	魚群探知器		1	1	1	0	
その他の器具	山岳救助資機材一式		1	2	1	0	
	誘導避難確認セット		1	1	1	0	
	B対応セット		10	10	10	0	
	応急処置用セット		3	3	2	1	
	緩降機		2	2	2	0	
	エスケープテックシステム		5	5	5	0	
	火花遮断シート		2	2	2	0	
	防水シート		2	2	2	0	
	ロープ登降機		0	0	0	0	
	ホース洗浄器		2	2	1	1	
	矢印表示板		3	3	3	0	
	携帯拡声器		12	10	8	4	
	ブースターケーブル		4	4	3	1	
	布水槽		3	3	2	1	
	オイルフェンス		5	5	3	2	
	油吸着マット (枚)		587	558	347	240	
訓練用マット		9	9	8	1		
訓練用ネット		1	1	1	0		

消防車両一覧表

種 別	車 名	型 式	年式	排気量 (ℓ)	出力 (PS)	総重量 (Kg)	ポンプ 性 能	消防無線 (呼出名称)	購入年月日	
消 防 本 部 (消 防 署)	化学車 (Ⅱ型)	日野	KC-GD1JGBA改	H10	7.96	215	9,610	A-1級	おのしょう1	平成10年3月
	タンク車 (水Ⅰ-A型)	日野	BDG-GX7JGWA改	H20	6.40	220	9,540	A-2級 小型ポンプ C-1級積載	おのしょう2	平成20年2月
	ポンプ 積載車	日産	PKG5F24-020230	H23	2.95	110	3,610	小型ポンプ B-2級積載	おのしょう3	平成23年9月
	35m級はしご付 消防自動車	日野	QDG-PR1APEF	H28	8.86	380	20,000		おのしょう4	平成28年4月
	救助工作車	日野	SDG-GX7JGAA改	H27	6.40	220	11,230		おのしょう5	平成27年2月
	指令車	三菱	E-EA1A	H9	1.83	150	1,635		おのしょう20	平成9年7月
	資機材搬送車	いすゞ	PB-NPS81AR	H16	4.70	130	5,545		おのしょう21	平成16年12月
	指揮広報車	トヨタ	KD-KZH116G	H10	2.98	130	2,570		おのしょう22	平成10年7月
	査察車	スズキ	DBA-MH23S	H23	0.65	54	1,030		おのしょう23	平成23年5月
	軽四資機材 積載車	三菱	GBD-U62T	H25	0.65	48	1,250		おのしょう25	平成25年6月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H19	2.69	151	3,235		おのしょう きゅうきゅう1	平成19年2月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H22	2.69	151	3,205		おのしょう きゅうきゅう2	平成22年2月
南 分 署	タンク車 (水Ⅱ型)	日野	PK-FE8JGFA改	H17	7.68	235	10,720	A-1級 小型ポンプ C-1級積載	おのしょう30	平成17年2月
	軽広報車	ダイハツ	LE-S320V	H19	0.65	45	1,360		おのしょう24	平成19年10月
	水槽車	日野	U-FS1VKBD改	H5	21.54	410	19,995	小型ポンプ B-2級固定	おのしょう31	平成5年2月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H24	2.69	151	3,215		おのしょう きゅうきゅう3	平成24年3月

消防署出動状況

平成27年中

出動種別 区分	火災	救急業務	救助業務	風水害の災害	演習訓練	広報・訓練指導	警防調査	特別警戒	捜索	その他	うちたずら等 誤報・誤認	合計
出動回数	14	2,136	39	2	7	106	46	21	10	207	1	2,588
前年回数	22	2,108	30	12	5	181	158	21	11	123	4	2,671
出動延人員	205	6,563	375	26	140	501	332	163	47	562	15	8,914
前年延人員	251	6,490	283	36	143	315	270	147	55	254	14	8,244

火災出動回数は、事後聞知件数を含む。

小野市火災予防条例に関する届け出状況

平成27年中

① 火災とまぎらわしい煙又は火炎を発する恐れのある行為

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	49	15	5	1	7	1	4	11	5	5	7	20	130

② 煙火（がん具用煙火を除く）の打ち上げ又は仕掛け

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	1	0	4	3	0	0	0	0	8

③ 劇場等以外の建築物その他の工作物における劇場、映画その他の開催

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

④ 水道の断水又は減水

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑤ 消防隊の通行その他消火活動に支障をおよぼす恐れのある道路工事

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	11	7	2	1	2	5	6	9	8	14	10	4	79

⑥ 祭礼、縁日、花火大会、展示会その他多数の者の集合する催しに際して露店等を開設する場合

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	1	0	1	2	1	3	3	2	3	2	0	1	19

救 急

平成27年救急概要

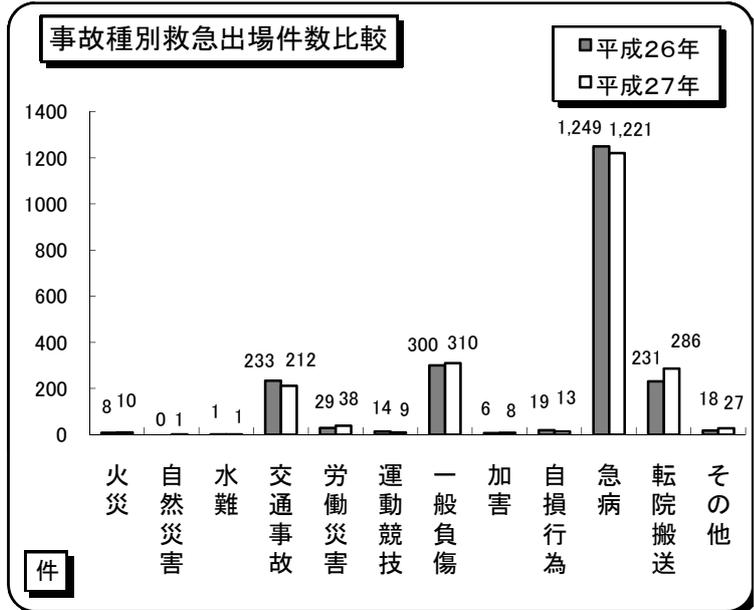
平成27年中の救急出場件数と搬送人員は、消防本部発足以来過去最多を記録し、救急出場件数は2,136件、搬送人員は1,986人で、昨年と比較すると、出場件数では28件増加、搬送人員では4人増加しています。

また、一日の平均出場件数は約5.9件となり、小野市内の救急車の平均現場到着時間は、119番入電からの通報時間も含めて平均で約7.0分となっています。

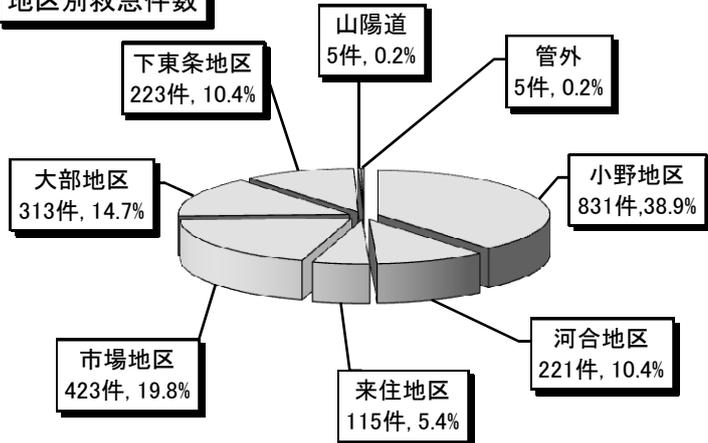
救急出場件数

平成27年中、2,136件の救急出場件数の事故種別による内訳は、急病が1,221件と半数以上を占め、全体の約57%となります。次いで一般負傷の310件（約15%）、転院搬送の286件（約13%）、交通事故の212件（約10%）となっています。

昨年より増加しているのは、転院搬送55件、一般負傷10件、労働災害9件、その他9件、火災2件、加害2件、自然災害1件で、逆に減少しているのが、急病28件、交通事故21件、自損行為6件、運動競技5件です。なお、水難は昨年と同数の1件です。



地区別救急件数

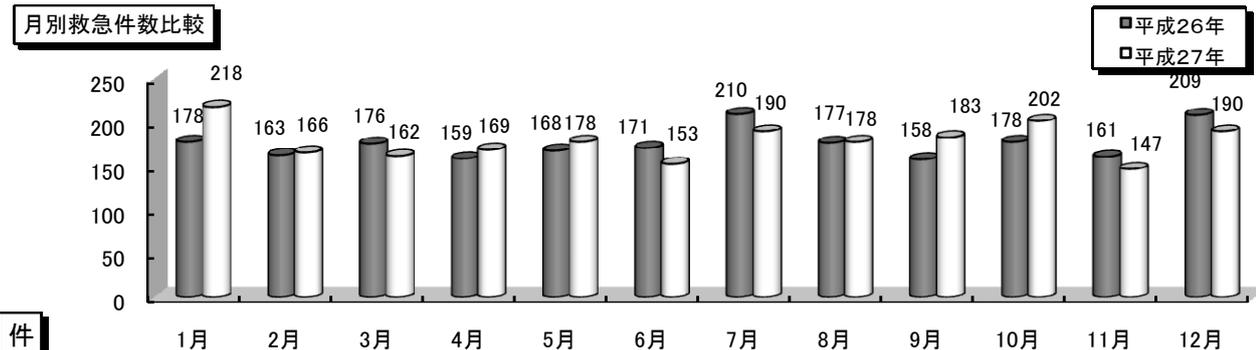


地区別・月別救急概要

救急出場件数を地区別にみると、小野地区が831件で全体の約39%を占め、次いで市場地区が423件、大部地区が313件、下東条地区が223件、河合地区が221件、来住地区が115件、その他（山陽道・管外）が10件となっています。

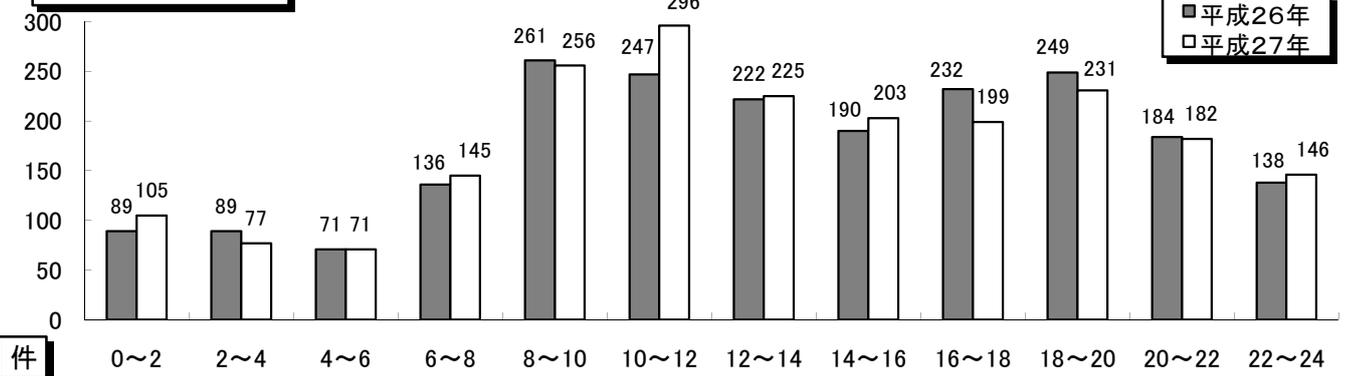
また、下の表のとおり、月別の救急出場件数は、1月の218件が最多で、逆に最少は11月の147件となっており、1ヶ月平均では178件となっています。

月別救急件数比較

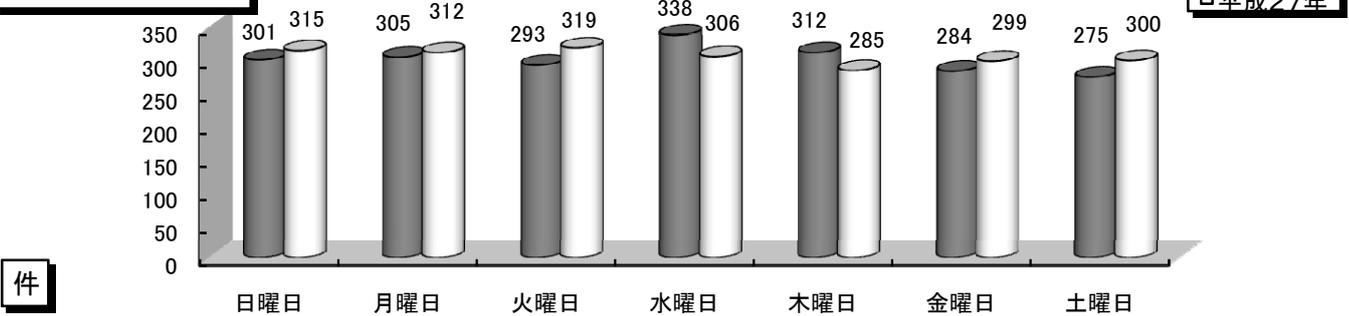


搬送人員状況

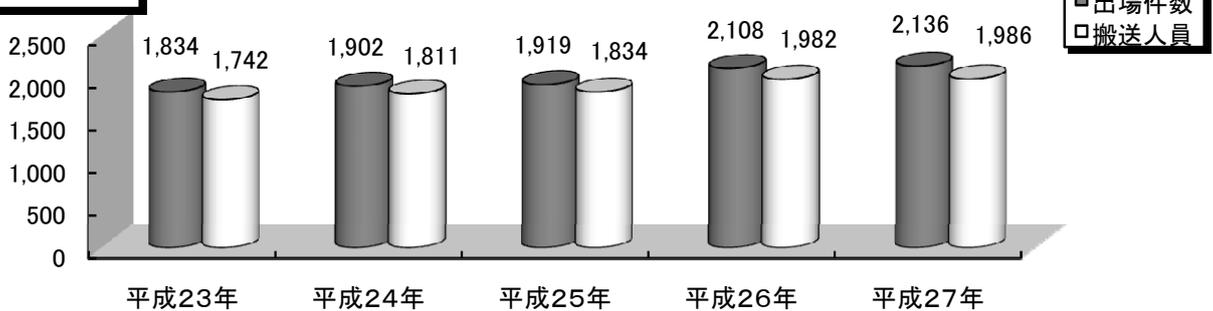
時間別救急件数比較



曜日別救急件数比較



過去5年間の救急状況



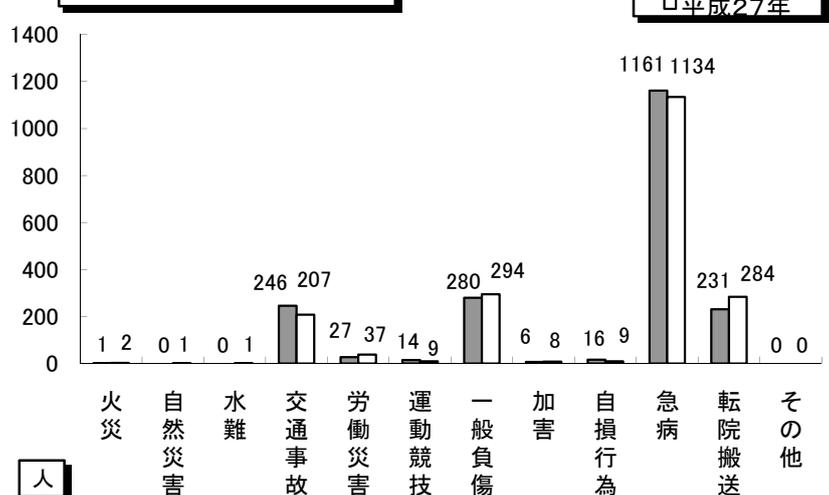
時間帯別でみると、10時～12時が出場のピークとなっており、曜日別では、火曜日が最も多く出場しています。

また、搬送人員は、1,986人で昨年より4人の増加となり、市民の約25人に1人が救急車を利用したことになります。

性別をみると、男性が1,025人で、女性が961人となっています。

年齢区分別にみると、小児（0～14歳）が222人（約11%）、成人（15～64歳）が621人（約31%）、高齢者（65歳以上）が1,143人（約58%）で、高齢者が全体の半数以上を占めています。

事故種別救急搬送人員比較

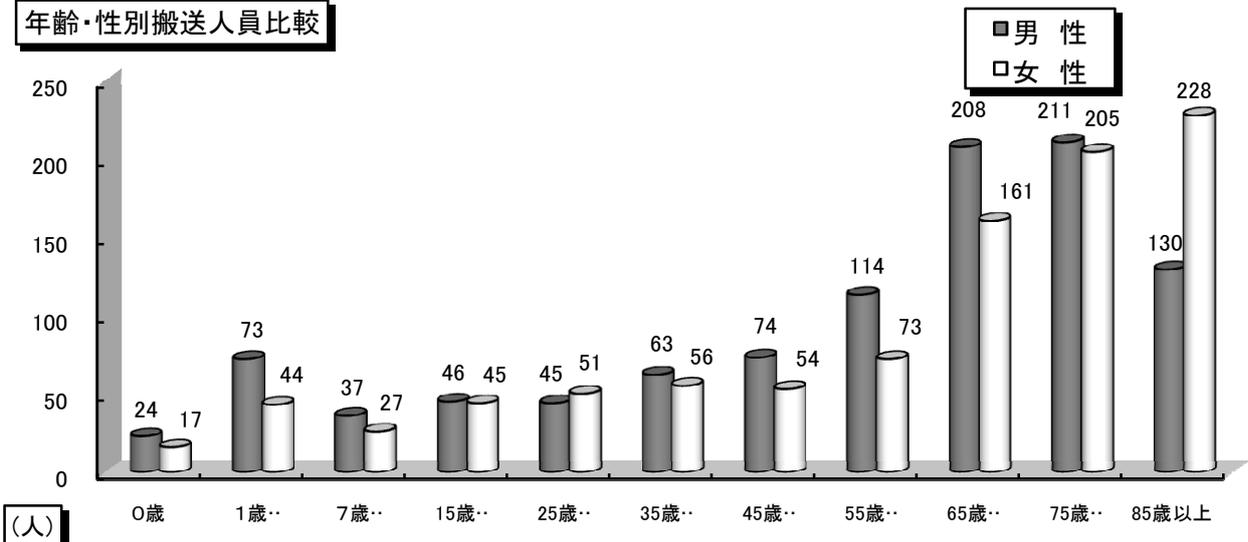


年齢・性別搬送人員比較

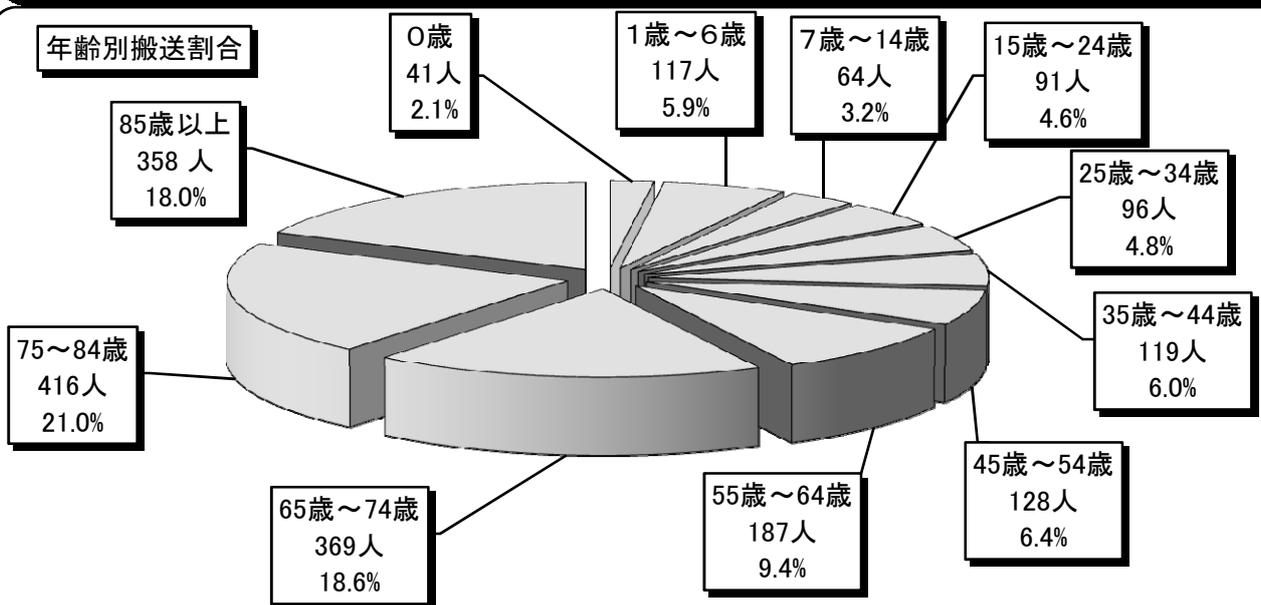
(単位：人)

性別 年齢別	平成27年			平成26年			昨年度比較		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0歳	24	17	41	20	5	25	4	12	16
1歳～6歳	73	44	117	80	40	120	-7	4	-3
7歳～14歳	37	27	64	39	29	68	-2	-2	-4
15歳～24歳	46	45	91	74	50	124	-28	-5	-33
25歳～34歳	45	51	96	46	47	93	-1	4	3
35歳～44歳	63	56	119	83	66	149	-20	-10	-30
45歳～54歳	74	54	128	76	46	122	-2	8	6
55歳～64歳	114	73	187	135	86	221	-21	-13	-34
65歳～74歳	208	161	369	168	124	292	40	37	77
75歳～84歳	211	205	416	206	215	421	5	-10	-5
85歳以上	130	228	358	129	218	347	1	10	11
合計	1,025	961	1,986	1,056	926	1,982	-31	35	4

年齢・性別搬送人員比較



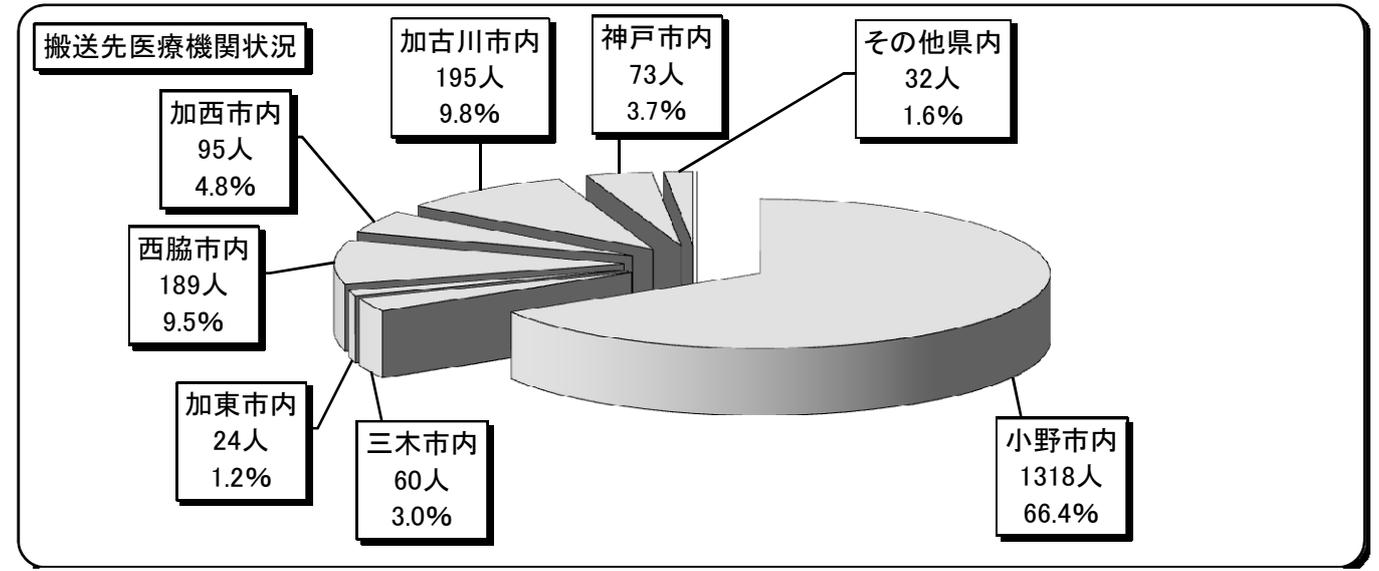
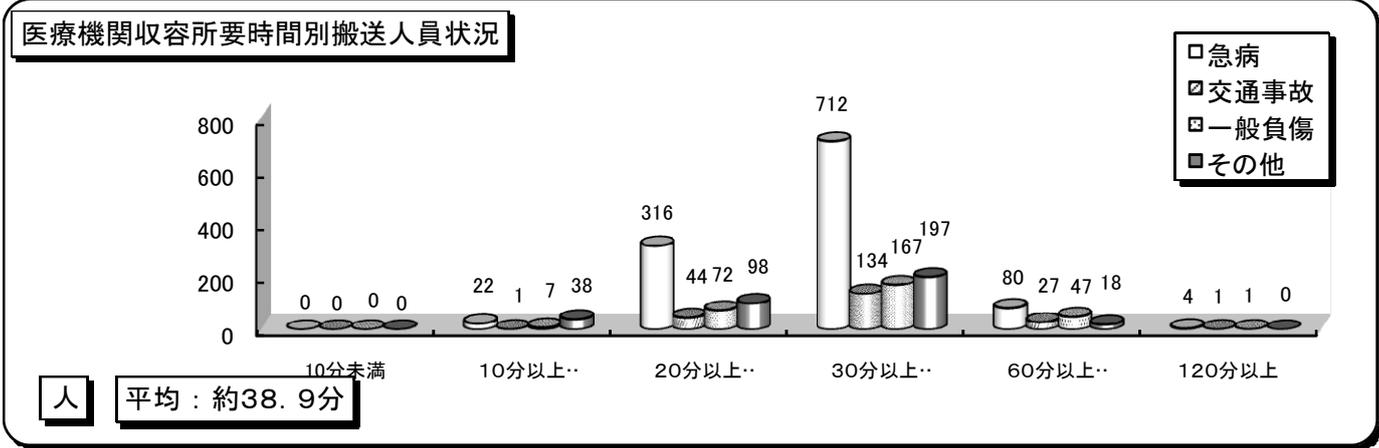
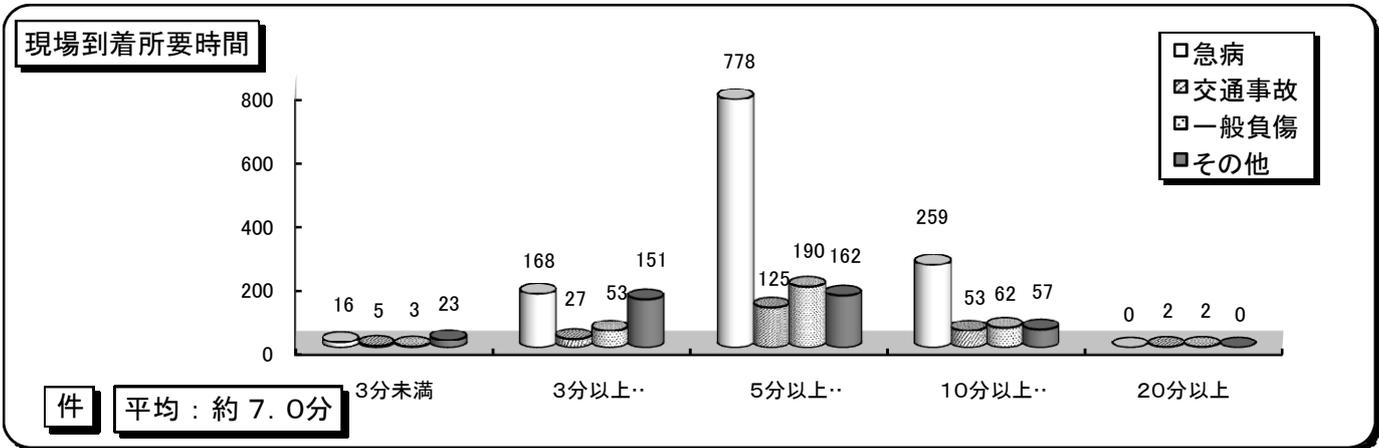
年齢別搬送割合



救急所要時間状況

救急隊が現場到着に要した時間は、119番の入電から通報時間も含めて平均で約7.0分、医療機関へ搬送されるまでの所要時間は平均で約38.9分を要しています。

傷病者が搬送された医療機関を地域別にみると、小野市内が1,318人で全体の約66.4%を占め、次いで加古川市内への195人、西脇市内へ189人、加西市内へ95人となっています。



事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数

(単位:人)

搬送地別	救急事故種別												合計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
											転院搬送	その他	
小野市内	1	1	1	130	21	4	181	5	4	841	129		1,318
三木市内				2			6			34	18		60
加東市内						1	4			15	4		24
西脇市内				20	6	1	40	2	2	88	30		189
加西市内				9	4		16	1		50	15		95
加古川市内	1			37	5	2	26		3	80	41		195
神戸市内				6	1	1	13			15	37		73
その他県内				3			8			11	10		32
その他県外													0
合計	2	1	1	207	37	9	294	8	9	1,134	284	0	1,986

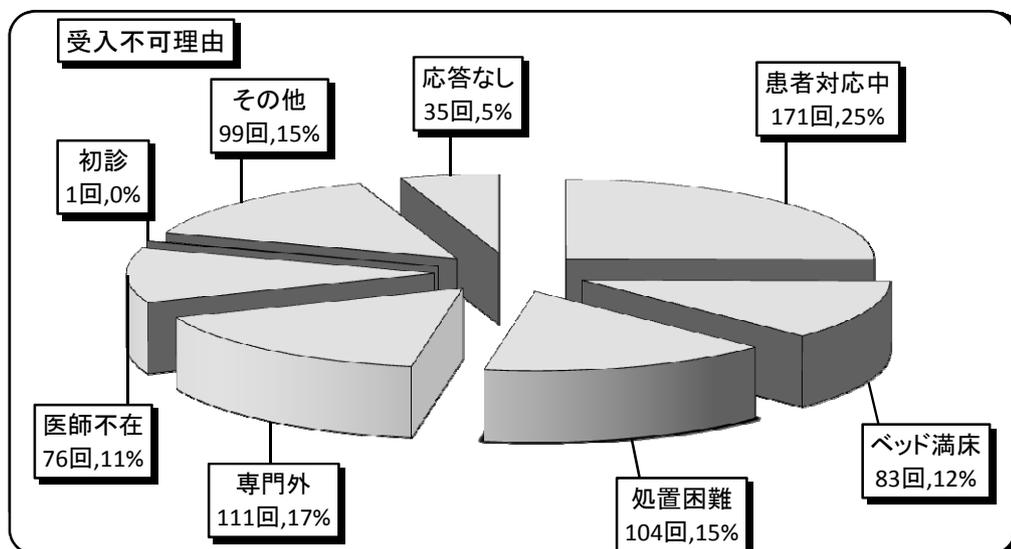
急病件数に対する過去5年間の比較

事故種別の中で最も多いのは急病です。

昨年と比較して件数は28件、搬送人員は27人減少しています。

区分	年別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
急病件数(件)		1,008	1,089	1,148	1,249	1,221
全件に対する構成比		55.0%	57.3%	59.8%	59.3%	57.2%
搬送人員(人)		955	1,025	1,092	1,161	1,134
全搬送人員に対する構成比		54.8%	56.6%	59.5%	58.6%	57.1%

医療機関平均交渉回数・平均交渉時間・受入不可理由



1件の救急事案で病院交渉した回数は平均約1.4回で、平均交渉時間は約5.1分かかっています。

病院から受入不可となった回数は9回が最多で、受入不可理由で1番多いのは、患者対応中の171回で、続いて専門外111回、処置困難104回となっています。

応急処置・救命処置実施状況

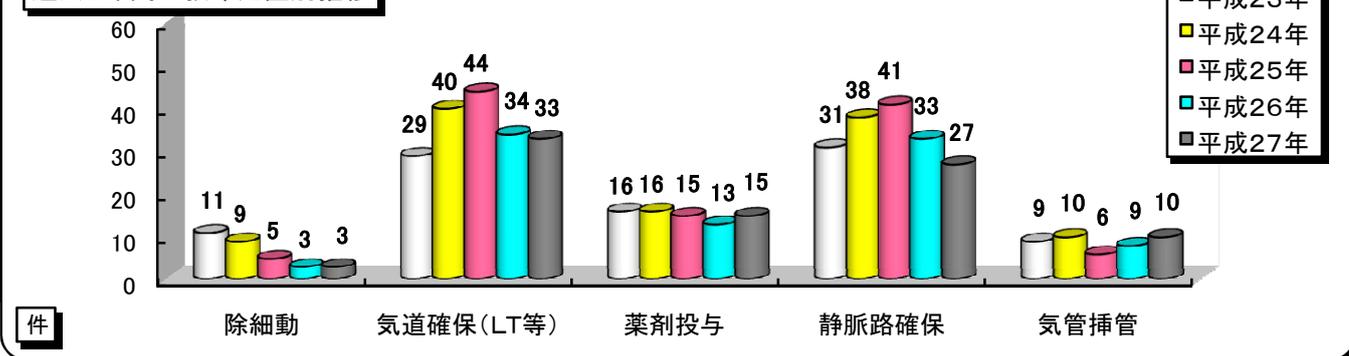
平成27年中の搬送人員は1,986人で、この内、救急隊員が何らかの応急処置を施したものは、全搬送人員の約99%にあたる1,965人です。応急処置実施総数は、6,800件となっています。これは搬送人員1人あたり約3.5件の処置をしたことになります。

また、救急救命士による救命処置件数は、対象者47人のうち、ラリングアルチューブ等を用いた気道確保を33件、気管挿管を10件、除細動を3件、静脈路確保を27件、薬剤投与を15件実施しています。

(単位:件)

処置別	事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	止血		3	11	33	11	58
	固定		5	139	55	17	216
	人工呼吸		4			1	5
	胸骨圧迫						0
	心肺蘇生		35	1	5	4	45
		うち自動					(0)
	酸素吸入		273	49	37	96	455
	気道確保(特定行為除く)		62	2	12	8	84
	保温		140	41	27	36	244
	被覆		4	28	87	20	139
	在宅療法継続		3			1	4
	ショックパンツ						0
	その他		23		8	5	36
	血圧測定		1,051	204	268	307	1,830
	聴診器による心・呼吸音聴取		314	88	45	36	483
	血中酸素飽和度測定		1,099	204	286	329	1,918
	心電図		825	90	116	174	1,205
うち伝送						(0)	
応急処置合計			3,841	857	979	1,045	6,722
救命処置	気道確保(ラリングアルチューブ等)		27	1	1	4	33
	気道確保(気管挿管)		6		4		10
	除細動		3				3
	静脈路確保		20	1	5	1	27
	薬剤投与		12		2	1	15
救命処置合計			62	2	8	6	78
応急処置総合計			3,903	859	987	1,051	6,800
応急処置対象人員			1,132	207	291	335	1,965

過去5年間の救命処置別推移



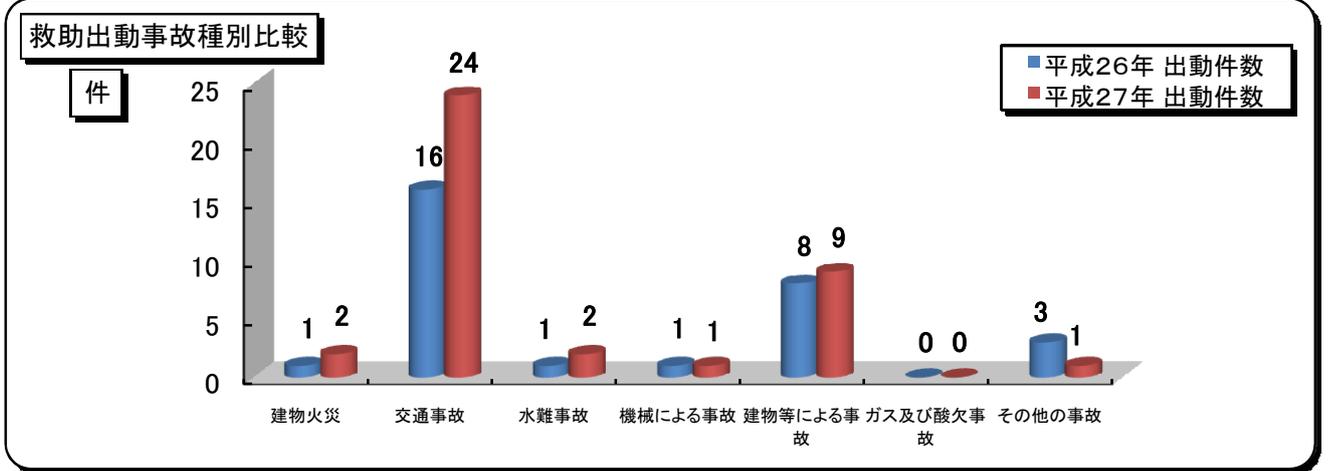
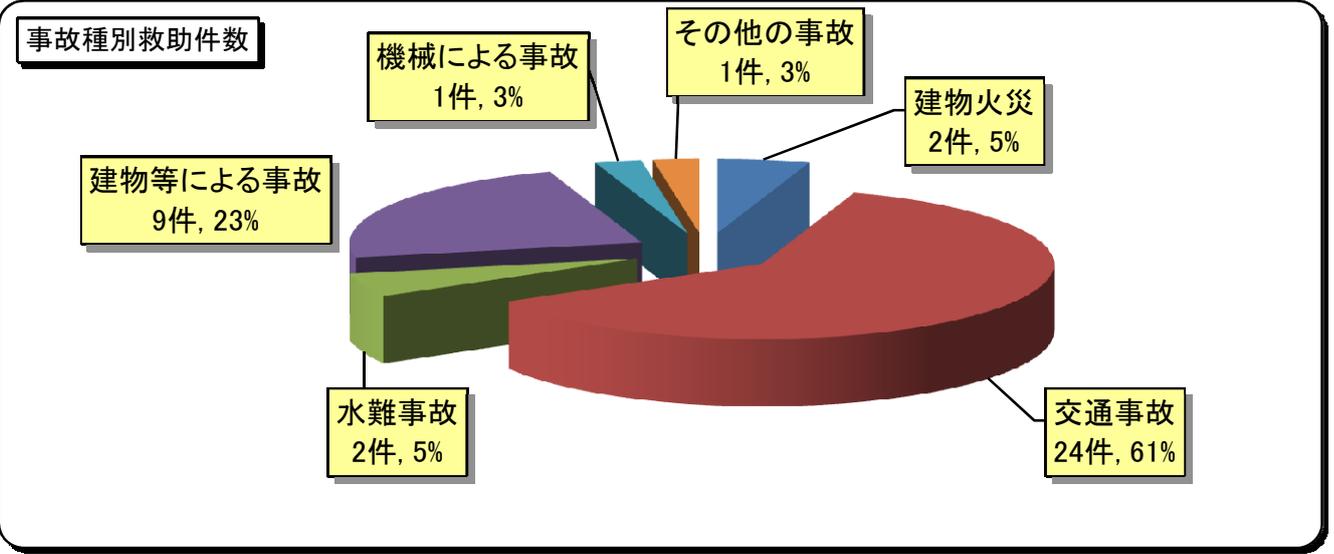
救 助

平成27年 救助概要

平成27年中の救助出動件数は39件で、活動件数は19件、このうち救助された人（救助人員）は17人でした。昨年と比較すると出動件数は9件、活動件数は4件増加しています。

事故種別の出動件数を昨年と比較して、増加した件数は、建物火災1件、交通事故8件、水難事故1件、建物等による事故1件で、減少した件数は、その他の事故2件です。機械による事故の出動件数は昨年と同件数でした。ガス及び酸欠事故は昨年同様発生していません。

区分 事故種別	平成27年			平成26年			前年比較		
	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)
建物火災	2	2	1	1	1	1	1	1	0
交通事故	24	9	9	16	5	6	8	4	3
水難事故	2	2	2	1	1	1	1	1	1
機械による事故	1	0	0	1	1	1	0	-1	-1
建物等による事故	9	5	4	8	7	9	1	-2	-5
ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事故	1	1	1	3	0	0	-2	1	1
合計	39	19	17	30	15	18	9	4	-1



指 命

消防通信系統図



本署・分署端末指令
一斉指令・個別指令

高所監視カメラ

職員・団員招集システム

順次指令
(非常招集・速報)

Eメール指令
(非常招集・速報・連絡)

【指令回線】

《無線機》
(デジタル)

活動波 1
活動波 2
主運用波
統制波 1
統制波 2
統制波 3

119番専用回線

NTT固定・IP (2回線)
携帯119通報 (2回線)
災害非常用 (1回線)
緊急通報FAX (1回線)
衛星電話 (2回線)

小野市消防本部
高機能指令センター

兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム

衛星通信ネットワーク

総合気象観測装置

警察

道路公団 (専用回線)

位置情報受信システム(統合型)

一般電話回線

一般加入電話
災害案内電話
各種関係機関
各種医療機関

緊急通報システム
(ペンダント通報)

安全センター
小野市役所
協力員

119番通報状況

平成27年中の総受信件数は、7,969件で前年(8,057件)より88件の減少で、1日平均22件となり、市民約6人に1人が通報したことになります。

受信状況の内訳は、火災14件(0.18%)、救急2,051件(25.7%)、救助33件(0.4%)、警戒112件(1.4%)となっており、全体の27.68%を占めています。医療機関の問い合わせ件数は、2,968件(37.3%)
また、いたずらや間違い等緊急性のない通報(試験の895件除く)が1,896件(23.82%)でした。

区分 月別	災 害				試 験	いた ずら	間 違 い	問 い 合 せ (医 療 機 関)	そ の 他	合 計
	火 災	救 急	救 助	警 戒						
1月	2	215	2	3	66	1	8	427	153	877
2月	0	161	0	11	66	0	5	222	169	634
3月	2	154	3	11	84	0	8	203	157	622
4月	1	160	1	8	78	0	10	200	133	591
5月	1	173	1	9	75	0	2	313	160	734
6月	3	147	2	3	79	0	8	175	136	553
7月	0	180	5	25	71	0	6	217	133	637
8月	2	175	1	4	77	0	9	278	144	690
9月	1	172	4	8	68	0	8	263	129	653
10月	1	197	4	12	80	0	12	193	192	691
11月	0	139	4	10	75	0	8	225	140	601
12月	1	178	6	8	76	1	5	252	159	686
合計	14	2,051	33	112	895	2	89	2,968	1,805	7,969
比率(%)	0.18	25.7	0.4	1.4	11.2	0.02	1.1	37.3	22.7	100
前年件数	24	2,092	28	189	781	4	132	3,131	1,676	8,057
前年比	-10	-41	5	-77	114	-2	-43	-163	129	-88

119番による口頭指導実施状況

項目 月別	CPR	異物除去	気道確保	熱傷	創傷	切断止血	患者観察	その他	合計
1月	9	1			1		10	5	26
2月	2				1		10	2	15
3月	3				2		9	1	15
4月	6			1	1		5	4	17
5月	5			1	3		6	1	16
6月	2				2		5		9
7月	3	1			2		10	3	19
8月	2				6		11	1	20
9月	2				2		5		9
10月	2		1		3		4	2	12
11月	4		1		1		6		12
12月	3				2		7		12
合計	43	2	2	2	26	0	88	19	182

情報テレフォンサービス利用件数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
138	58	70	52	95	69	60	92	88	94	74	59	949

※ 情報テレフォンサービスでは、医療機関情報及び災害状況案内を行っている。

消防無線一覽

(平成28年4月現在)

(1) デジタル無線設備(260MHz)

種別 名称	基地局 出力10W	陸上移動局(携帯型)			備考
		車載型 出力10W	携帯型 出力5W	卓上・可搬型 出力10W	
活動波1	1	16	22	3 (卓上型1、 可搬型2)	統制波は3チャンネル 切替方式
活動波2					
主運用波					
統制波1					
統制波2					
統制波3					

(2) 署活系無線設備(400MHz)

種別 名称	陸上移動局(携帯型)	備考
第1波	25	第3波は兵庫県内共通波 第4波は防災相互波
第2波	25	
第3波	25	
第4波	25	

気象状況

項目 月別	風向/風速(m/s)			気温(°C)			相対湿度(%)			雨量(mm)	
	最大瞬間風速	平均風速	平均風向	最高気温	最低気温	平均気温	最高湿度	最低湿度	平均湿度	最大時間雨量	積算雨量(日)
1月	17.1 西南西	1.6	静穏	14.6	-2.9	3.9	99.9	46.3	86.4	9.5	27.5
2月	19.4 南西	1.7	西	14.5	-3.2	4.8	99.9	40	80.1	2.5	8
3月	20.6 西北西	1.9	静穏	21.7	-2.8	8.1	99.9	24.9	79.1	8	33.5
4月	17.1 南南東	2.4	静穏	25.4	2.7	14.3	99.9	15.2	79.5	5.5	24
5月	14.3 北	1.9	静穏	30.5	8.6	19.7	99.9	27.2	72	15.5	34.5
6月	13 北	1.8	静穏	29.9	13.5	21.7	99.9	18.8	83.8	11.5	39
7月	23.4 北東	2.6	南南東	34.7	19.2	25.1	99.9	43.8	89.1	29	208
8月	20.3 東北東	1.7	静穏	36.2	20.4	27	99.9	45	84	31.5	66.5
9月	13.4 南	2	静穏	29.2	14.3	21.5	99.9	34.1	86.2	20	33.5
10月	16.6 南南東	1.7	静穏	25.9	5.2	16.6	99.9	33.3	79.5	11	25.5
11月	16 北	1.6	静穏	23.8	1	13.2	99.9	46.3	88.3	9	46.5
12月	15.8 北西	1.4	静穏	16.7	-2.3	7.5	99.9	47.4	86.4	32	73

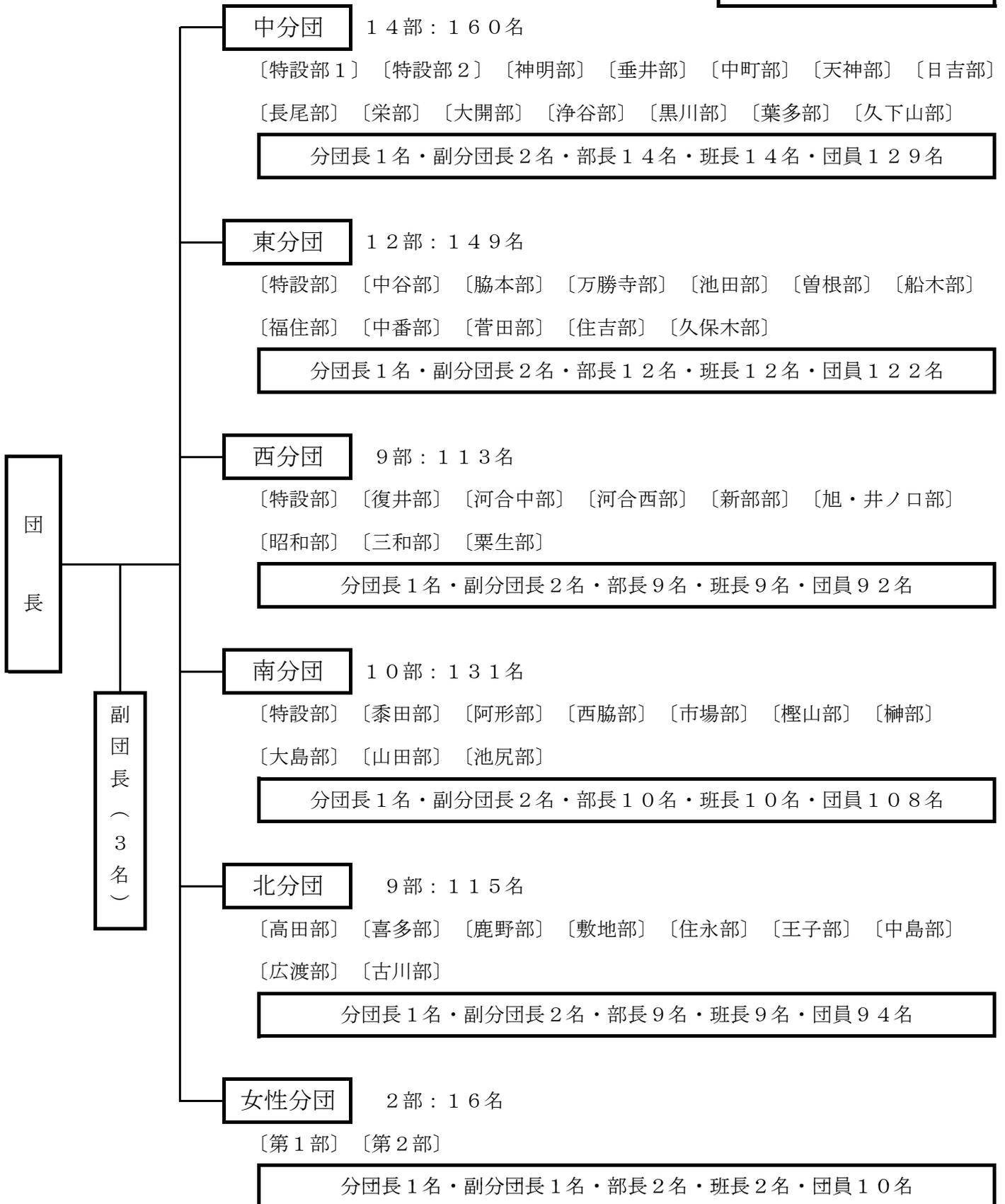
(注)小野市防災センター(小野市王子町)における観測データを使用

消防団

消防団組織

(平成28年4月1日現在)

全56部 総数688名



平成27年度消防団行事

平成27年	4月1日	消防団協力事業所表示証交付	
	4月12日	小野市消防大会	於 小野市民会館
	5月7日	分団長会議	
	5月31日	小野市消防署・消防団合同水防訓練	於 小野市浄谷町 浄谷南産業用地
	6月28日	小野市消防団ソフトボール大会	於 下東条コミュニティセンター
	7月3日	分団長会議	
	7月12日	北播消防ソフトボール大会	於 三木市
	8月22日	小野まつり警戒(22日、23日)	於 大池総合運動公園周辺
	9月9日	救急の日(救急医療週間)救急キャンペーン	
	9月25日	分団長会議	
	10月14日	小野市研究発表会(女性分団発表)	
	10月25日	ひょうご消防のつどい2015	於 三木市
	11月1日	幹部会議	
	11月9日	秋季全国火災予防運動(9日～15日)	
	12月6日	小野ハーフマラソン2015警備	
12月29日	年末警戒(29日～30日)		
平成28年	1月15日	分団長会議	
	1月24日	文化財防火訓練	於 浄土寺
	1～3月	火災予防特別警戒(1月～3月)	
	3月1日	春季全国火災予防運動(1日～7日)	
	3月26日	避難所運営ゲーム(HUG)体験研修	

* 消防水利(消火栓・防火水槽)点検 年2回実施 ・各部定期訓練 毎月実施

消防力の現況

(平成28年4月1日現在)

組 織		人 員	消防ポンプ自動車	軽 四 積 載 車	小型動力ポンプ
消 防 団		688	6	49	54
構 成 内 容	団 本 部	4	1		
	中 分 団	160	2	12	14
	東 分 団	149	1	11	12
	西 分 団	113	1	8	9
	南 分 団	131	1	9	10
	北 分 団	115		9	9
	女 性 分 団	16			

消防団員出動状況

(平成27年度中)

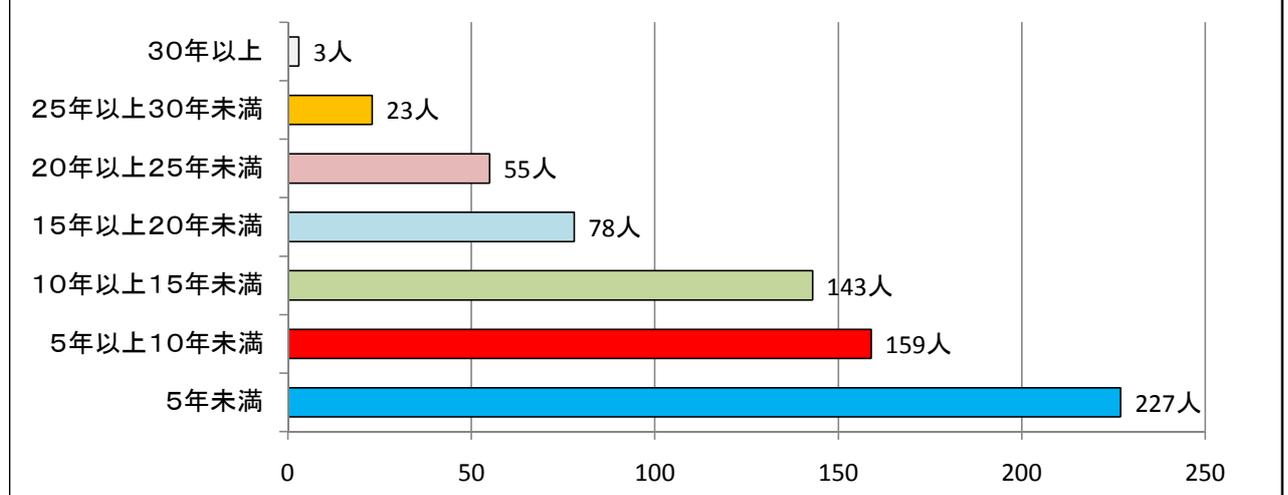
出動種別 区分	各種 災害 出動	演 習 訓 練	特 別 警 戒	水 利 調 査	そ の 他	う い ち た ず ら 火 災 の 誤 報 ・ 誤 認	合 計
出 動 回 数	8	25	7	86	110		236
前 年 出 動 回 数	14	560	4	80	108	0	766
出 動 延 人 員	471	1,637	1,152	497	5,636		9,393
前 年 出 動 延 人 員	304	4,897	1,145	403	6,493	0	13,242

消防団員の在職年数状況

(平成28年4月1日現在)

在 職 年 数	人数(うち女性)
5年未満	227 (3)
5年以上10年未満	159 (5)
10年以上15年未満	143 (8)
15年以上20年未満	78
20年以上25年未満	55
25年以上30年未満	23
30年以上	3
合 計	688

消防団員在職年数状況



年齢別消防団員数

(平成28年4月1日現在)

階級 年齢	小計	うち女性	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計
18歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	18
19歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	19
20歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21歳	3	0	0	0	0	0	0	0	3	63
22歳	3	0	0	0	0	0	1	0	2	66
23歳	10	0	0	0	0	0	0	0	10	230
24歳	15	0	0	0	0	0	1	0	14	360
25歳	13	1	0	0	0	0	1	0	12	325
26歳	12	0	0	0	0	0	2	1	9	312
27歳	18	1	0	0	0	0	3	4	11	486
28歳	17	1	0	0	0	0	1	4	12	476
29歳	28	0	0	0	0	0	10	2	16	812
30歳	32	1	0	0	0	1	2	3	26	960
31歳	31	1	0	0	0	0	7	0	24	961
32歳	38	0	0	0	0	1	2	3	32	1,216
33歳	29	0	0	0	0	0	4	2	23	957
34歳	34	0	0	0	0	0	2	10	22	1,156
35歳	44	1	0	0	0	0	3	4	37	1,540
36歳	36	0	0	0	0	0	2	5	29	1,296
37歳	36	0	0	0	0	1	2	2	31	1,332
38歳	35	0	0	0	0	0	2	2	31	1,330
39歳	35	0	0	0	0	0	1	0	34	1,365
40歳	25	0	0	0	0	1	0	1	23	1,000
41歳	30	0	0	0	0	1	0	3	26	1,230
42歳	23	1	0	0	1	1	1	2	18	966
43歳	27	2	0	0	0	3	1	3	20	1,161
44歳	21	0	0	0	0	0	2	1	18	924
45歳	20	0	0	0	1	0	1	0	18	900
46歳	11	1	0	0	1	2	1	0	7	506
47歳	7	0	0	0	1	0	0	0	6	329
48歳	5	0	0	1	0	0	0	0	4	240
49歳	7	0	0	0	1	0	1	0	5	343
50歳	7	3	0	0	0	0	1	0	6	350
51歳	5	0	0	0	0	0	0	0	5	255
52歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	52
53歳	4	1	0	1	0	0	0	0	3	212
54歳	3	0	0	1	0	0	0	0	2	162
55歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	55
56歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	57
58歳	3	1	1	0	0	0	0	1	1	174
59歳	1	0	0	0	1	0	0	0	0	59
60歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	60
61歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
63歳	3	1	0	0	0	0	0	1	2	189
64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65歳以上	11	0	0	0	0	0	1	1	9	735
合計	688	16	1	3	6	11	55	55	557	25,239
平均		42.1	58.0	51.7	48.0	40.3	32.6	34.7	35.6	36.7

消防団員等公務災害発生状況

(平成27年度)

区分 災害種別	階級別						傷病程度					
	正・副団長	正・副分団長	部長	班長	団員	消防作業従事者	一週間未満	一週間～二週間	二週間～一ヶ月	一ヶ月～三ヶ月	三ヶ月以上	死亡
消火活動中												
救急活動中												
消防訓練中			1		1					1	1	
特別警戒中												
その他												
合計	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0

消防団表彰状況

別	年度別種	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		消防庁長官	団体			
	個人		1	1	1	1
日本消防協会	団体					1
	個人	4	3	3	3	3
日本消防協会(特別)	団体					
	個人					
兵庫県知事	団体					
	個人	2	3	3	3	5
兵庫県消防協会	団体	1				
	個人	13	15	15	20	19
北播消防協議会	団体	1	1	1	1	1
	個人	15	15	15	15	15
小野市長	個人	8	7	7	10	11
小野市消防団長	団体	10	10	10	10	9
	個人	43	58	52	47	52

消防自動車の現況

《特設部別》

(平成28年3月31日現在)

種別	分 団 別	車 番	車 種	年 式	級 別	排気量	登録年月日
消 自 防 ポ ン プ 車	団本部	800 そ 4428	いすゞ	平成27年	A-2	2.99	平成27年12月10日
	中分団特設部	800 す 9295	日 野	平成18年	A-2	4.00	平成18年 3月22日
		800 そ 235	トヨタ	平成24年	A-2	4.00	平成24年11月13日
	東分団特設部	800 そ 1602	トヨタ	平成25年	A-2	4.01	平成25年11月11日
	西分団特設部	800 さ 7028	日 野	平成12年	A-2	4.89	平成12年12月12日
南分団特設部	800 す 7970	日 野	平成17年	A-2	4.00	平成17年 9月 2日	

《分団別》

(平成28年3月31日現在)

種別	分団別	部 別	車 番	車 種	年 式	登録年月日
小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車 (軽 四)	中分団	神 明 部	880 あ 225	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		垂 井 部	880 あ 2568	三 菱	平成24年	平成24年 9月27日
		中 町 部	880 あ 2913	三 菱	平成25年	平成25年10月 8日
		天 神 部	80 あ 1643	三 菱	平成 9年	平成 9年10月 7日
		日 吉 部	880 あ 2147	三 菱	平成23年	平成23年 7月22日
		長 尾 部	800 あ 866	三 菱	平成19年	平成19年 9月14日
		栄 部	880 あ 227	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		大 開 部	880 あ 2912	三 菱	平成25年	平成25年10月 8日
		浄 谷 部	80 あ 2909	三 菱	平成15年	平成15年 8月28日
		黒 川 部	80 あ 1285	スバル	平成 7年	平成 7年10月19日
		葉 多 部	880 あ 3274	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
	久 下 山 部	880 あ 1227	スバル	平成20年	平成20年 9月 8日	
	東分団	中 谷 部	880 あ 865	三 菱	平成19年	平成19年 9月14日
		脇 本 部	80 あ 2157	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		万 勝 寺 部	80 あ 2643	スバル	平成14年	平成14年 8月 8日
		池 田 部	80 あ 2159	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		曾 根 部	80 あ 1466	スバル	平成 8年	平成 8年12月 5日
		船 木 部	80 あ 1786	スバル	平成10年	平成10年 7月23日
		福 住 部	800 あ 518	三 菱	平成18年	平成18年 9月 3日
		中 番 部	80 あ 1785	スバル	平成10年	平成10年 7月23日
		菅 田 部	80 あ 1970	スバル	平成11年	平成11年11月18日
		住 吉 部	80 あ 1968	スバル	平成11年	平成11年11月18日
	西分団	久 保 木 部	880 あ 2567	三 菱	平成24年	平成24年 9月27日
		復 井 部	80 あ 954	三 菱	平成 4年	平成 4年 9月12日
		河 合 中 部	80 あ 2158	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		河 合 西 部	80 あ 953	三 菱	平成 4年	平成 4年 9月12日
		新 部	80 あ 2644	スバル	平成14年	平成14年 8月 8日
		旭・井ノ口部	880 あ 1825	三 菱	平成22年	平成22年 7月13日
		昭 和 部	80 あ 1644	三 菱	平成 9年	平成 9年10月 7日
		三 和 部	80 あ 3218	スズキ	平成16年	平成16年 9月21日
	南分団	粟 生 部	80 あ 1164	三 菱	平成 6年	平成 6年 9月22日
		黍 田 部	880 あ 1226	スバル	平成20年	平成20年 9月 8日
		阿 形 部	80 あ 1967	スバル	平成11年	平成11年11月18日
		西 脇 部	80 あ 1969	スバル	平成11年	平成11年11月18日
		市 場 部	80 あ 1395	スバル	平成 8年	平成 8年 7月16日
		檜 山 部	800 あ 519	三 菱	平成18年	平成18年 9月 3日
		榊 部	880 あ 1824	三 菱	平成22年	平成22年 7月13日
		大 島 部	80 あ 1396	スバル	平成 8年	平成 8年 7月16日
		山 田 部	880 あ 226	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		池 尻 部	80 あ 3219	スズキ	平成16年	平成16年 9月21日
	北分団	高 田 部	80 あ 2910	三 菱	平成15年	平成15年 8月28日
		喜 多 部	880 あ 2148	三 菱	平成23年	平成23年 7月22日
		鹿 野 部	880 あ 3273	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
		敷 地 部	800 あ 1565	スバル	平成21年	平成21年 9月11日
		住 永 部	80 あ 1287	スバル	平成 7年	平成 7年10月19日
		王 子 部	880 あ 3538	三 菱	平成27年	平成27年 7月23日
		中 島 部	880 あ 3537	三 菱	平成27年	平成27年 7月23日
広 渡 部		80 あ 979	三 菱	平成 4年	平成 4年12月 6日	
古 川 部	800 あ 1566	スバル	平成21年	平成21年 9月11日		

小野市消防の沿革

1954年(昭和29年)

- 12月 6か町村(小野町、河合村、来住村、市場村、大部村、下東条村)の合併により、小野市が発足
同時に『小野市連合消防団』(1,375名)を組織

1956年(昭和31年)

- 4月 加東郡社町のうち、久保木及び古川部落を編入し、市街地の3分団を統合し、特設分団(分団員50名)を発足
10月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1957年(昭和32年)

- 5月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1960年(昭和35年)

- 4月 『小野市連合消防団』の名称を『小野市消防団』に改める。

1963年(昭和38年)

- 4月 榊分団を新設
10月 水槽付消防自動車を配備

1965年(昭和40年)

- 4月 消防本部及び消防署を設置
大開分団を新設し、団員1,414名となる。
12月 三木市加佐字草加野及び三木市細川町脇川(通称草加野)の両地区の消防行政を、小野市消防本部が受託する。

1966年(昭和41年)

- 12月 救急自動車(A級)を配備し、救急業務を開始

1968年(昭和43年)

- 4月 消防団員の定員を1,144名とする。
東部特設分団(小田)を新設し、それに伴い消防ポンプ自動車(A2級)を配備
5月 消防ポンプ自動車(BD-1型)を受納

1970年(昭和45年)

- 2月 日本消防協会から優良消防団として、表彰旗を受ける。
4月 消防団の機構を改正し、副団長13名を3名に、56分団を6分団56部に編成
11月 東分団特設部詰所及び車庫を新築

1971年(昭和46年)

- 4月 化学消防自動車(I型)を配備
6月 消防庁舎新築

1972年(昭和47年)

- 1月 西分団特設部に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備
- 4月 特設分団を中分団特設部(2部)に改める。
また、南分団来住部、同下来住部を新たに南分団特設部として設置、これにより消防団機構は、5分団56部となり、消防団員定員を1,060名とする。
- 11月 特設分団を中分団特設部(2部)に改める。

1973年(昭和48年)

- 10月 兵庫県危険物安全協会小野支部を改組し、新たに小野市防火協会を設立

1974年(昭和49年)

- 1月 救急自動車(B3型)を配備(更新)
- 3月 東分団特設部、小田上部、小田下部をもって新たに東分団特設部を設置
消防団機構は、5分団54部となる。

1975年(昭和50年)

- 3月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1977年(昭和52年)

- 2月 水槽付消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
車庫の寄贈を受ける。
- 11月 救急自動車(RH42VB型)の寄贈を受ける。

1979年(昭和54年)

- 1月 消防本部にC級救急指令装置を設置
- 2月 サイレン吹鳴制御装置(本部に親局、市内9か所に子局)を新設
- 11月 普通貨物自動車を配備
消防ポンプ自動車(BD-I級)を受納

1980年(昭和55年)

- 3月 指令車を配備

1981年(昭和56年)

- 3月 中分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
- 12月 救急車(RH45VB型)の寄贈を受ける。

1982年(昭和57年)

- 3月 消防署の車庫を増築(市役所第4庁舎)
- 10月 東分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備
- 12月 西分団特設部詰所及び車庫新築

1983年(昭和58年)

- 12月 東分団特設部詰所増改築

1984年(昭和59年)

- 3月 20m級屈折はしご付消防ポンプ自動車(A1級)を配備
- 4月 消防団員の定員を1,044名とする

1985年(昭和60年)

2月 化学消防自動車(Ⅱ型)を配備(更新)

1986年(昭和61年)

4月 消防本部に水防倉庫設置

5月 殺菌灯付ロッカー(救急用)の寄贈を受ける。

10月 県内共通波基地局無線設備整備

1987年(昭和62年)

6月 広報車の寄贈を受ける。

10月 救急車の寄贈を受ける。

気象観測装置整備

1988年(昭和63年)

1月 西分団に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備(更新)

2月 消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

3月 消防訓を制定

4月 指令車を配備(更新)

8月 小型動力ポンプ積載車を配備

11月 南分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1989年(平成元年)

1月 水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)を配備(更新)

8月 普通貨物自動車を配備(更新)

11月 救急車(2B型)の寄贈を受ける。

12月 中分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1990年(平成2年)

3月 消防緊急情報システム(I型)を配置

1991年(平成3年)

3月 全国共通波(第1波)基地局設備整備
消防無線用パンザーマスト25mを新設

1992年(平成4年)

2月 南分署庁舎新築(延678.85㎡)

3月 署所端末装置及び消防無線(救急波)整備事業完了
救急自動車(2B型)の寄贈を受ける。

1993年(平成5年)

1月 河合水防倉庫新築

3月 消防庁舎改修工事完成

南分署に小型動力ポンプ付水槽車兼薬液搬送車を配備、薬液タンク庫(17.5㎡)を増築、化学消火薬剤10klを備蓄

8月 消防ポンプ自動車(CD-I型)の寄贈を受ける。

11月 中分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1994年(平成6年)

3月 準高規格救急車を配備

1995年(平成7年)

2月 東分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)
3月 消防緊急通信指令施設(地図等検索装置)整備事業完了
市町村波基地局消防無線設備を整備(更新)
12月 救助工作車(II型)を配備

1996年(平成8年)

12月 高規格救急自動車を配備、運用開始(準高規格救急自動車の更新)
県内共通波基地局消防無線設備を整備(更新)

1997年(平成9年)

3月 耐震性貯水槽飲料水兼用(100m³型)を整備
6月 査察車を配備
7月 指令車を配備(更新)

1998年(平成10年)

1月 全国共通波(第1、2波)基地局消防無線設備整備
3月 化学消防自動車(II型)を配備(更新)
10月 小型動力ポンプ積載車を配備(更新)
指揮広報車を配備
12月 コミュニティ消防センター(中分団特設部詰所併設)新築
南分団特設部詰所及び車庫改装

1999年(平成11年)

2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車の更新)
4月 消防団員の定員を874名とする。

2000年(平成12年)

12月 西分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)が配備(更新)

2001年(平成13年)

2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車を更新)
4月 消防団女性分団が発足
9月 屈折はしご自動車(20m級)を配備(更新)

2002年(平成14年)

8月 総合気象観測装置整備(更新)
9月 消防職・団員召集システム整備

2004年(平成16年)

4月 久保木部を北分団から東分団に編成替えする。
12月 消防資機材搬送車を配備(更新)

2005年(平成17年)

- 2月 南分署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)
- 3月 下東条地域防災拠点施設(東分団特設部詰所)建設
- 9月 南分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)が配備(更新)

2006年(平成18年)

- 3月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2007年(平成19年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 10月 小野ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。

2008年(平成20年)

- 2月 消防署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)

2010年(平成22年)

- 2月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 3月 通信指令システム更新(位置情報システム導入)
- 3月 消防庁舎耐震化
- 4月 消防団員の定員を700名とする。

2011年(平成23年)

- 5月 査察車を配備(更新)
- 10月 消防ポンプ自動車を更新し小型動力ポンプ付積載車(B2ポンプ)を配備

2012年(平成24年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 4月 消防救急デジタル無線 電波伝搬調査
- 11月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2013年(平成25年)

- 1月 消防救急デジタル無線 基本・実施設計
- 3月 小野市防災センター起工
- 7月 軽四資機材積載車を配備(更新)
- 11月 東分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2014年(平成26年)

- 4月 小野市防災センター開設
- 4月 消防救急デジタル無線 整備
- 4月 臨時北部救急拠点開設

2015年(平成27年)

- 2月 救助工作車(II型)を配備(更新)
- 4月 小野市消防本部発足50周年
- 12月 総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸与を受ける。

2016年(平成28年)

- 3月 小野市消防本部発足50周年誌「小野消防の軌跡」発刊

消防応援協定の締結状況

(平成28年4月1日現在)

締結年月日	内 容
昭和52年 2月 1日	陸上自衛隊青野原駐とん地と小野・加東・加西各消防署・団との申し合わせ
平成20年 3月 5日	加古川市と消防相互応援に関する協定
平成23年 3月14日	三木市と消防相互応援に関する協定
平成23年 5月13日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定
平成25年 4月 1日	山陽自動車道消防相互応援に関する協定
平成25年10月23日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定

《全国統一防火標語》

消しましょう その火 その時 その場所で

《小野市統一防火標語》

お出かけと 火のもと確認 ワンセット！

《林野火災防火標語》

誓います 森の安全 火の始末

《危険物安全週間推進標語》

決めろ 無事故の ストライク



平成27年版 消防年報

発行年月日 平成28年7月

編集発行 小野市消防本部

兵庫県小野市王子町809

電話 (0794) 63-0119

FAX (0794) 63-7199

Eメール : syobo@city.ono.hyogo.jp

小野市ホームページ : <http://www.city.ono.hyogo.jp>